

平成28年度
保育所等保育士就労意識調査
報告書

平成29年3月

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県保育士・保育所支援センター

はじめに

現在我が国では、社会情勢の変化に伴い核家族化が進行し共働きの家庭も増加している中で、保育所の利用者ニーズも年々高まっています。保育所・認定こども園では、保育士の確保と併せ現職の保育士の定着率をより高めていくことも重要な課題となっております。

国では少子化対策の総合的な展開を行っておりますが、特に今後は「保育の受皿のさらなる拡大」、「保育士等のキャリアアップの仕組みの構築、処遇改善」、等に取り組んでいくこととなっております。

このような状況を踏まえ、本会「保育士・保育所支援センター」では、県内の保育所・認定こども園で現在保育士として勤務されている方を対象に、就労に関する考え方や意見・意向、仕事の魅力、就業継続の要件等を把握し、保育所等においての人材確保や、職員の定着に役立てていくために本調査を実施し、報告書を作成しましたのでご活用いただければ幸いです。

最後に、本調査にご協力をいただきました保育所等の保育士の皆様及び担当者の方に御礼申し上げますとともに、今後とも関係の皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成29年3月

社会福祉法人

福島県社会福祉協議会

福島県保育士・保育所支援センター

目 次

I 調査概要	3
II 調査結果	
1 経験等	
問 1 性別・年齢	7
問 2 保育士資格の取得方法	8
問 3 保育士資格を取得した理由	8
問 4 通算の就業年数および経験職場数	9
問 5 幼稚園教諭免許取得の有無	10
2 就労状況	
問 6 勤務場所	11
問 7 勤務場所の所在地域	11
問 8 雇用形態	12
問 9 現在勤務している職場での勤続年数	13
問 10 現在の職場を選んだ理由	14
問 11 現在の職場への就業のきっかけ	18
問 12 現在の職場に対する満足度	21
問 13 月平均の残業時間	34
問 14 最近 1 年間の研修への参加状況	34
問 14-1 受けた研修の内容	40
問 15 今後、習得したい知識や技術	41
問 16 やりがいを感じることに	42
問 17 対応が難しいと感じていることに	44
問 18 職場への要望	47
3 再就職者の実態	
問 19 過去に保育所・認定こども園を辞めたことがあるか	50
問 19-1 辞めた理由	51
問 19-2 再就職までのブランク期間	52
問 19-3 再就職への課題	53
4 保育士として働き続けるために必要な取り組み	
問 20 効果的と思われる保育士確保方策	54
問 21 保育士の就労、労働環境、職場への定着などについての意見・提案	57
III 巻末資料	
平成 28 年度「保育所等保育士就労意識調査」調査票	60

I 調査概要

1. 調査目的

社会情勢の変化に伴い核家族化が進行し共働きの家庭も増加している中で、保育所の利用者ニーズも年々高まっており、保育所・認定こども園では保育士の確保と併せ現職の保育士の定着率をより高めていくことも重要な課題となっております。

このような状況をふまえ、県内の保育所・認定こども園で働く保育士の就労に関する考え方や意見・意向、仕事の魅力、就業継続の要件等を把握し、今後の本センターにおける保育士の確保・育成・定着に関する対策の資料とすることを目的に実施します。

2. 実施主体

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県保育士・保育所支援センター（福島県委託事業）

3. 調査対象

県内の保育所・認定こども園（以下、保育所等という。）に勤務し、日常的に乳幼児の支援に直接あたっている保育士（保育士資格を保有する者）。

※「派遣職員」を除く「正規職員」と「非正規職員（フルタイム・パート）」。

4. 調査期間

平成28年12月1日（木）～16日（金）

5. 調査基準日

平成28年12月1日現在

6. 調査方法

I. 福島県保育士・保育所支援センター（以下、保育センターという。）が、調査票を保育所等に郵送し、保育所等が調査票を職員に配布、返信用封筒で職員が保育センターに直接返送する調査方法。

II. 各保育所等あたり10名を上限に回答いただく。（無記名で回答）

III. 方法

(1) 保育センターから保育所等へ以下の書類を送付する。

①調査票 ②返信用封筒（長3）

(2) 保育所等では上記「①調査票」「②返信用封筒」を調査対象に該当する職員へ配付し、職員は調査票へ回答する。

(3) 職員は調査票回答後、返信用封筒に入れ投函する。

(4) 保育センターにおいて調査票回収後に集計を行う。

(5) 保育センターにおいて集計結果を分析し、報告書を作成する。

7. 調査内容

巻末に掲載した調査票のとおり。

8. 回収結果

調査票回収率 54.2% (配付数 3,510、回収数 1,902) →詳細は「Ⅱ. 調査結果」(P.7～)

施設分野	配付施設数	配布数	回収数	回収率
保育所・保育園	284ヶ所	2,840	1,537	54.1%
認定こども園	67ヶ所	670	358	53.4%
無回答			7	
合計	351ヶ所	3,510	1,902	54.2%

9. 調査結果の概要

(1) 回答者の基本属性

今回の調査の回答者は、女性が97.6%、年代は30代が最も多く28.3%であるが、20代から60代以上まで幅広い年代から回答いただいた。

短期大学の保育士養成課程で保育士資格を取得した人が82.2%であり、81.0%が第二種幼稚園教諭免許を保有している。保育士資格を取得した理由は「子供と接することが好きであったから」が83.3%と最も高い。

保育士としての通算就業年数は「5年～10年未満」の割合が最も高く、15年未満で約6割を占めている。経験した職場数は「1か所目」の割合が31.7%と最も高く、3か所目までが7割を超えている。

(2) 勤務場所と現在の職場への就業のきっかけ

回答者の勤務場所は80.8%が「保育所・保育園」、18.8%が「認定こども園」である。また雇用形態は、60.5%が「正規職員」として勤務しており、「非正規職員（フルタイム）」が32.8%、「非常勤（パート）」が6.4%である。現在の職場での勤続年数は「1年～3年未満」が最も多く、10年未満が合わせて8割近くである。

現在の職場を選んだ理由は「通勤に便利」が49.9%と最も高く、正規職員では「福利厚生が充実している」、非常勤（パート）では「勤務時間が希望に合っている」の割合が高い。

現在の職場への就業のきっかけは「知人、友人、OB・OGからの紹介」が最も多く、年代が高くなるほど、および、正規職員より非正規職員（フルタイム・パート）ほどその割合が高い。

(3) 就業状況と職場に対する満足度

勤務日数は「週5日」の割合が最も高い。毎月平均の残業時間は「10時間未満」、自宅からの通勤時間は「10分～20分未満」が最も高い。

「勤務日数」や「通勤時間」については、「満足」「やや満足」を合わせた割合が7割を超えており、満足度が高いことがうかがえる。また、同じく「満足」「やや満足」の割合が5割を超えたのは、「職場との人間関係」「保護者や地域との関係性」「施設の理念や運営方針」などである。

一方、「不満」「やや不満」の割合が高かったのは「給与・賞与等」でその割合は45.6%となった。

(4) 研修への参加状況と要望

最近1年間に研修に「参加した」人は全体の88.1%、参加回数は、施設内の研修、施設外の研修ともに「2回～3回」の割合が最も高い。

受けた研修の内容は「保育実技」の割合が最も高く、次いで「救命救急」「コミュニケーション（職員間・子ども・保護者）」などである。今後習得したい知識・技術では「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が最も高い。

現在の職場で対応が難しいと感じていることでも「障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応」が72.0%と最も高く、次いで「保護者への対応」となっている。

保育士としてやりがいを感じることでは「子どもの成長が実感できる」が92.7%と最も高い。

(5) 再就職者の実態

過去に保育所・認定こども園を辞めたことは「ない」が51.4%、「ある」が46.0%である。辞めた理由では「自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）」の割合が最も高く、次いで「労働環境に不満（労働時間・休憩時間・有給休暇等）」「契約満了」「給与・賃金に不満」などである。

再就職までのブランク期間は「1年未満」が最も高く、再就職するにあたっての課題は「子育てとの両立への不安」「ブランクがあることへの不安」「賃金」などが高い。

(6) よりよい職場とするために

現在勤務している保育所・認定こども園への要望としては、「給与・賃金の改善」が56.9%と最も高い。今後、保育士として働き続けるために必要な取り組みとしては、「保育士資格取得に対する経費の支援（単位取得のための受講料補助など）」、「保育士自身の子育て環境（事業所内保育施設の設置、優先入所等）の充実」、「給与・賞与面での充実」を求める声が多い。

Ⅱ 調査結果

1 経歴等

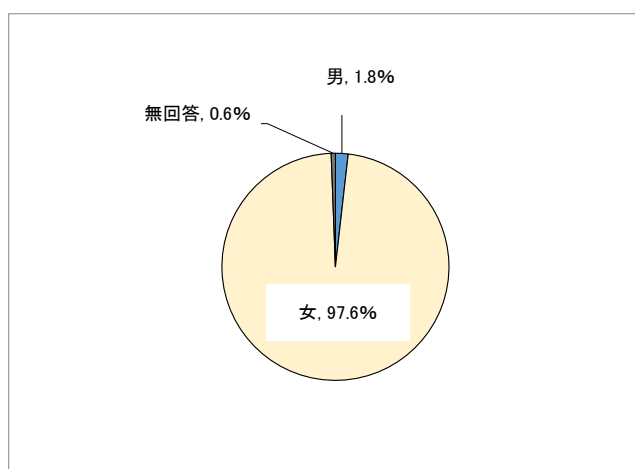
問1 性別・年齢（H28.12.1 現在）

回答者の性別は、「女性」が97.6%、「男性」が1.8%である。

年代的には「30代」が28.3%と最も高く、「20代」が26.2%、「40代」が22.5%、「50代」が19.0%と続く。

<単純集計図表>

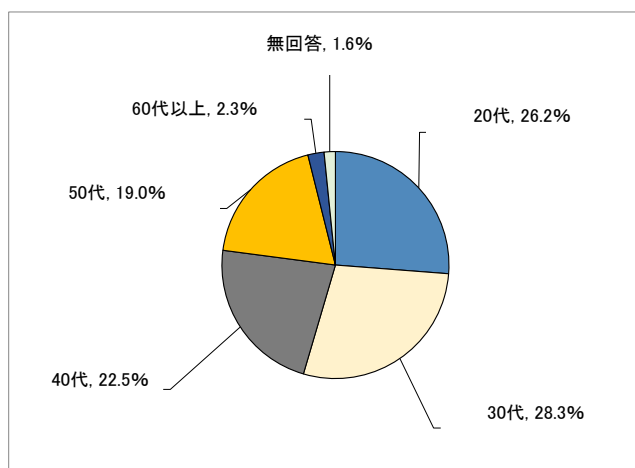
・性別



(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
男	34	1.8%
女	1,856	97.6%
無回答	12	0.6%

・年代



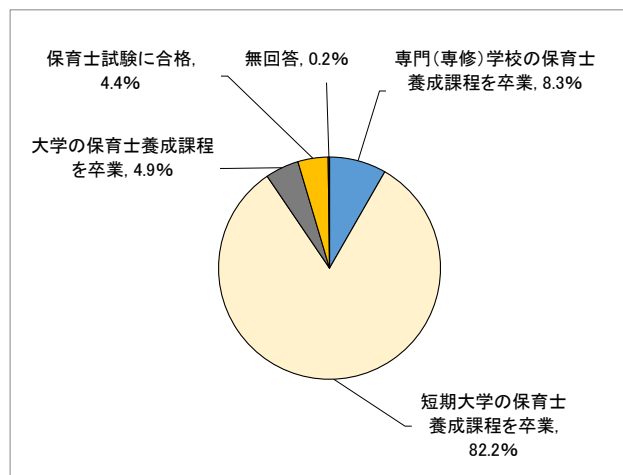
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
20代	499	26.2%
30代	539	28.3%
40代	428	22.5%
50代	362	19.0%
60代以上	43	2.3%
無回答	31	1.6%

問 2 保育士資格の取得方法

保育士資格の取得方法は、「短期大学の保育士養成課程を卒業」が 82.2%、「専門（専修）学校の保育士養成課程を卒業」が 8.3%、「大学の保育士養成課程を卒業」が 4.9%、「保育士試験に合格」が 4.4%である。

<単純集計図表>



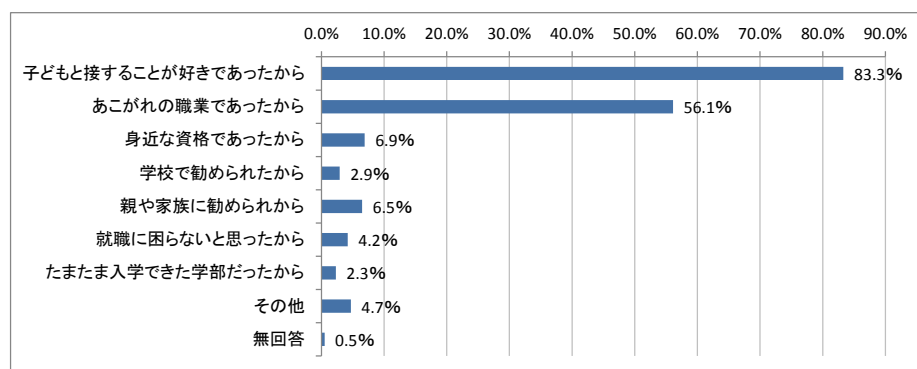
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
専門(専修)学校の保育士養成課程を卒業	157	8.3%
短期大学の保育士養成課程を卒業	1,563	82.2%
大学の保育士養成課程を卒業	94	4.9%
保育士試験に合格	84	4.4%
無回答	4	0.2%

問 3 保育士資格を取得した理由<2つまで選択>

保育士資格を取得した理由は、「子どもと接することが好きであったから」が 83.3%と最も高く、次いで「あこがれの職業であったから」が 56.1%と高い。

<単純集計図表>



(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
子どもと接することが好きであったから	1,585	83.3%
あこがれの職業であったから	1,067	56.1%
身近な資格であったから	132	6.9%
学校で勧められたから	56	2.9%
親や家族に勧められたから	124	6.5%
就職に困らないと思ったから	79	4.2%
たまたま入学できた学部だったから	44	2.3%
その他	89	4.7%
無回答	9	0.5%

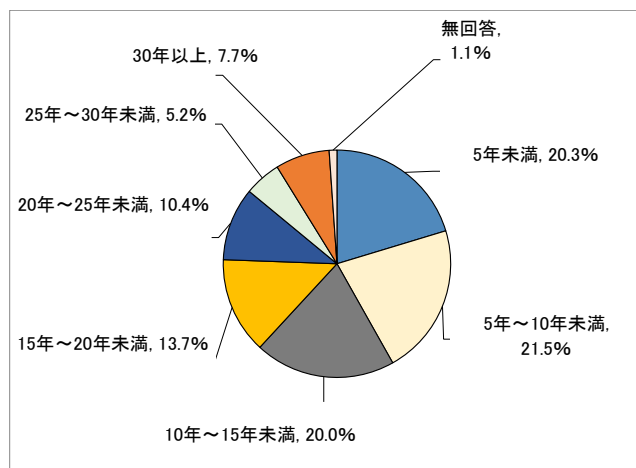
問 4 通算の就業年数および経験職場数

保育士として働いている通算の就業年数は、「5年～10年未満」が21.5%で最も高く、「5年未満」が20.3%、「10年～15年未満」が20.0%、「15年～20年未満」が13.7%、「20年～25年未満」が10.4%と続く。

経験職場数は、「1か所目」が31.7%で最も高く、「2か所目」が25.2%、「3か所目」が16.0%、「5か所以上」が13.6%、「4か所目」が11.0%である。

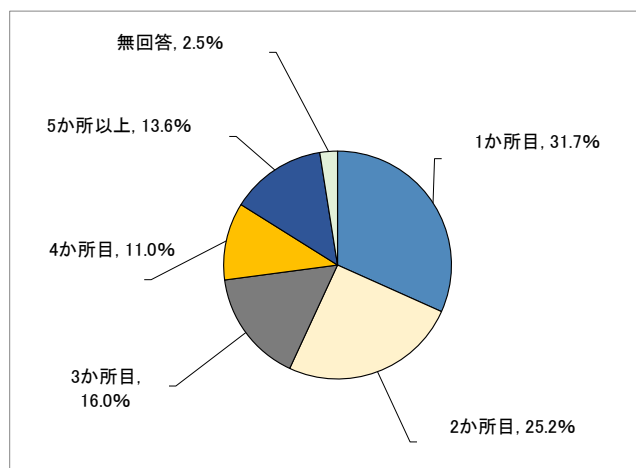
<単純集計図表>

・通算就業年数



	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
5年未満	387	20.3%
5年以上10年未満	409	21.5%
10年以上15年未満	380	20.0%
15年以上20年未満	261	13.7%
20年以上25年未満	198	10.4%
25年以上30年未満	99	5.2%
30年以上	147	7.7%
無回答	21	1.1%

・職場数

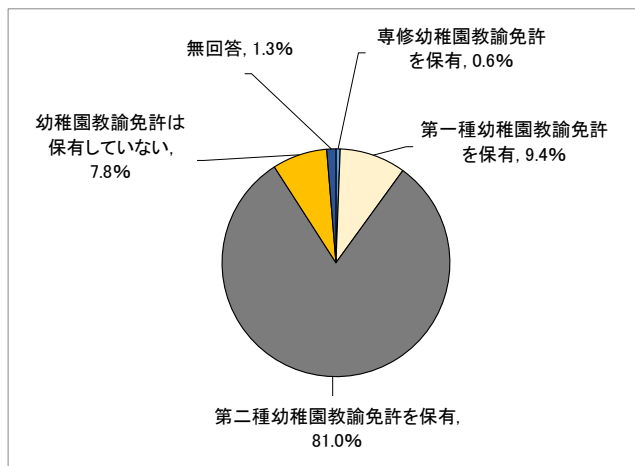


	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
1か所目	602	31.7%
2か所目	479	25.2%
3か所目	305	16.1%
4か所目	210	11.1%
5か所以上	258	13.6%
無回答	48	2.5%

問 5 幼稚園教諭免許取得の有無

81.0%が「第二種幼稚園教諭免許を保有」、「第一種幼稚園教諭免許を保有」が9.4%、「幼稚園教諭免許は保有していない」が7.8%と続く。

<単純集計図表>



(単回答)

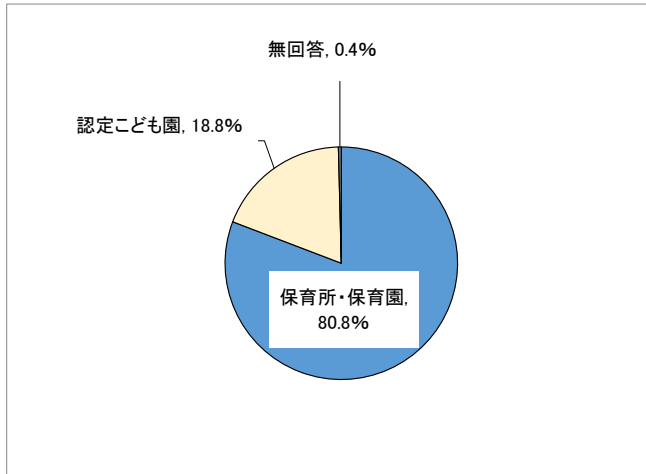
	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
専修幼稚園教諭免許を保有	11	0.6%
第一種幼稚園教諭免許を保有	179	9.4%
第二種幼稚園教諭免許を保有	1,540	81.0%
幼稚園教諭免許は保有していない	148	7.8%
無回答	24	1.3%

2 就労状況

問6 勤務場所

現在勤務しているのは、「保育所・保育園」が80.8%、「認定こども園」が18.8%である。

<単純集計図表>



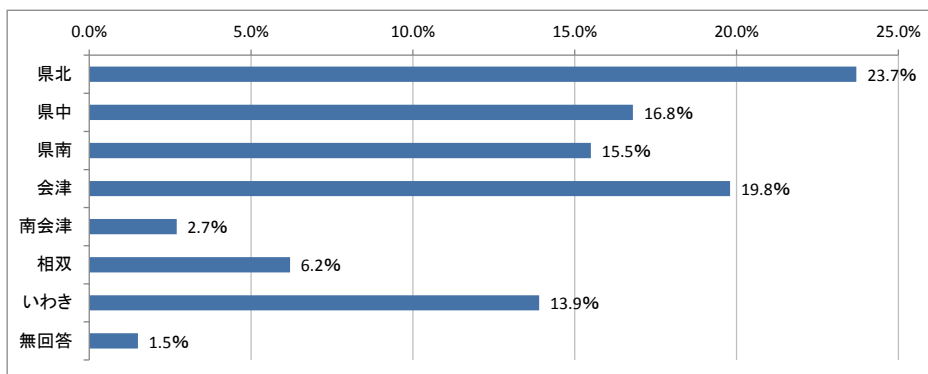
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
保育所・保育園	1,537	80.8%
認定こども園	358	18.8%
無回答	7	0.4%

問7 勤務場所の所在地域<1つ選択>

現在勤務している保育所・認定こども園の所在地域は、「県北」が23.7%、「会津」が19.8%、「県中」が16.8%、「県南」が15.5%、「いわき」が13.9%、「相双」が6.2%、「南会津」が2.7%である。

<単純集計図表>



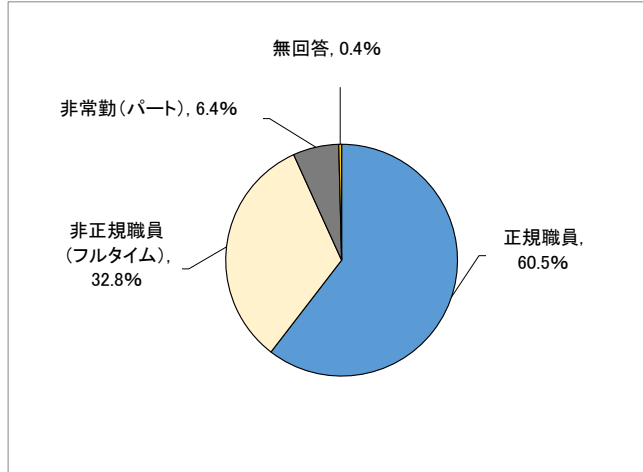
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
県北	450	23.7%
県中	319	16.8%
県南	295	15.5%
会津	376	19.8%
南会津	51	2.7%
相双	118	6.2%
いわき	265	13.9%
無回答	28	1.5%

問 8 雇用形態<1つ選択>

現在の雇用形態は、「正規職員」が 60.5%と最も高く、「非正規職員(フルタイム)」が 32.8%、「非常勤(パート)」が 6.4%である。

<単純集計図表>

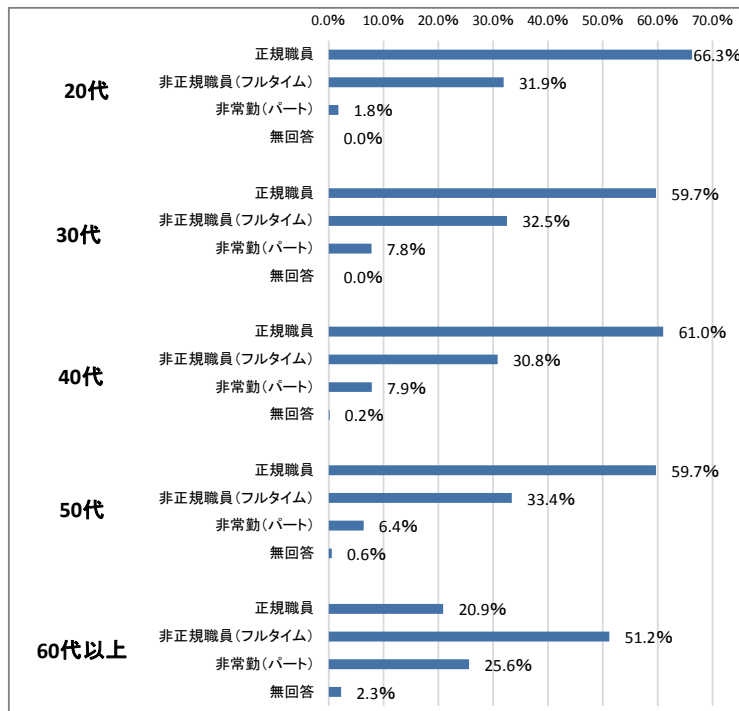


(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
正規職員	1,150	60.5%
非正規職員(フルタイム)	623	32.8%
非常勤(パート)	122	6.4%
無回答	7	0.4%

年代別では、20代～50代では「正規職員」がいずれも約6割、「非正規職員(フルタイム)」が約3割である。「正規職員」の割合は20代が最も高い。30代、40代では「非常勤(パート)」の割合が比較的高い。60代以上では「非正規職員(フルタイム)」が最も高く、次いで「非常勤(パート)」である。

<年代別集計図表>



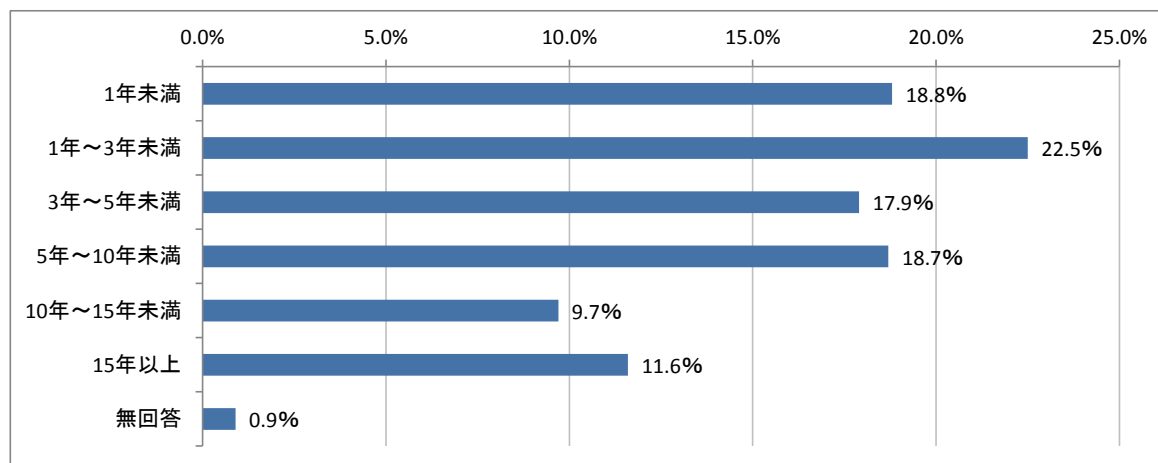
上段: 回答数
下段: 構成比
(単回答)

	合計	正規職員	非正規職員(フルタイム)	非常勤(パート)	無回答
合計	1,902	1,150	623	122	7
	100.0%	60.5%	32.8%	6.4%	0.4%
20代	499	331	159	9	-
	100.0%	66.3%	31.9%	1.8%	-
30代	539	322	175	42	-
	100.0%	59.7%	32.5%	7.8%	-
40代	428	261	132	34	1
	100.0%	61.0%	30.8%	7.9%	0.2%
50代	362	216	121	23	2
	100.0%	59.7%	33.4%	6.4%	0.6%
60代以上	43	9	22	11	1
	100.0%	20.9%	51.2%	25.6%	2.3%
無回答	31	11	14	3	3
	100.0%	35.5%	45.2%	9.7%	9.7%

問9 現在勤務している職場での勤続年数（H28.12.1 現在）

現在勤務している保育所・認定こども園での勤続年数は、「1年～3年未満」が22.5%で最も高く、「1年未満」が18.8%、「5年～10年未満」が18.7%、「3年～5年未満」が17.9%、「15年以上」が11.6%、「10年～15年未満」が9.7%である。

<単純集計図表>



(単回答)

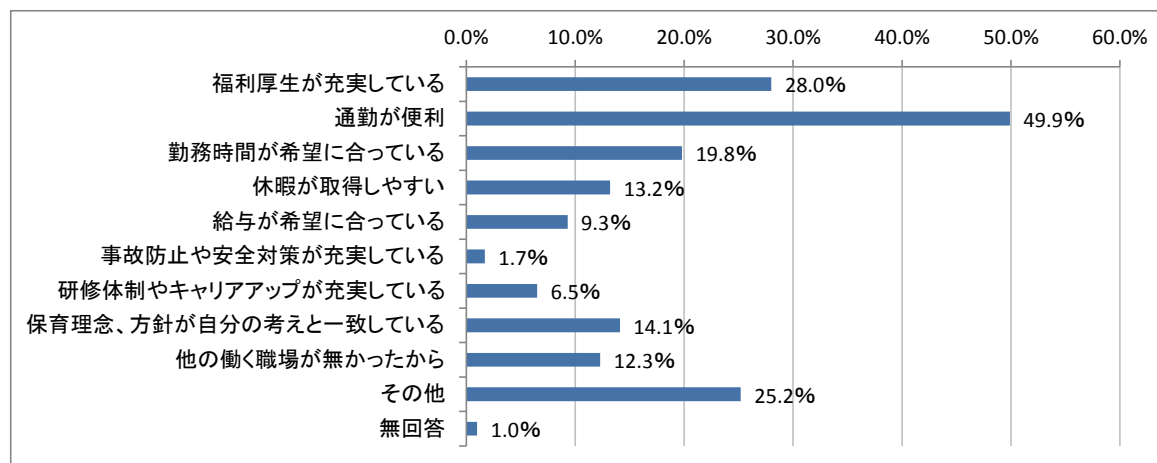
	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
1年未満	357	18.8%
1年～3年未満	427	22.5%
3年～5年未満	340	17.9%
5年～10年未満	355	18.7%
10年～15年未満	184	9.7%
15年以上	221	11.6%
無回答	18	0.9%

問 10 現在の職場を選んだ理由<3 つまで選択>

現在の職場を選んだ理由は、「通勤が便利」が 49.9%と最も高く、次いで「福利厚生が充実している」(28.0%)、「勤務時間が希望に合っている」(19.8%)が続く。

* 「その他」を除く

<単純集計図表>



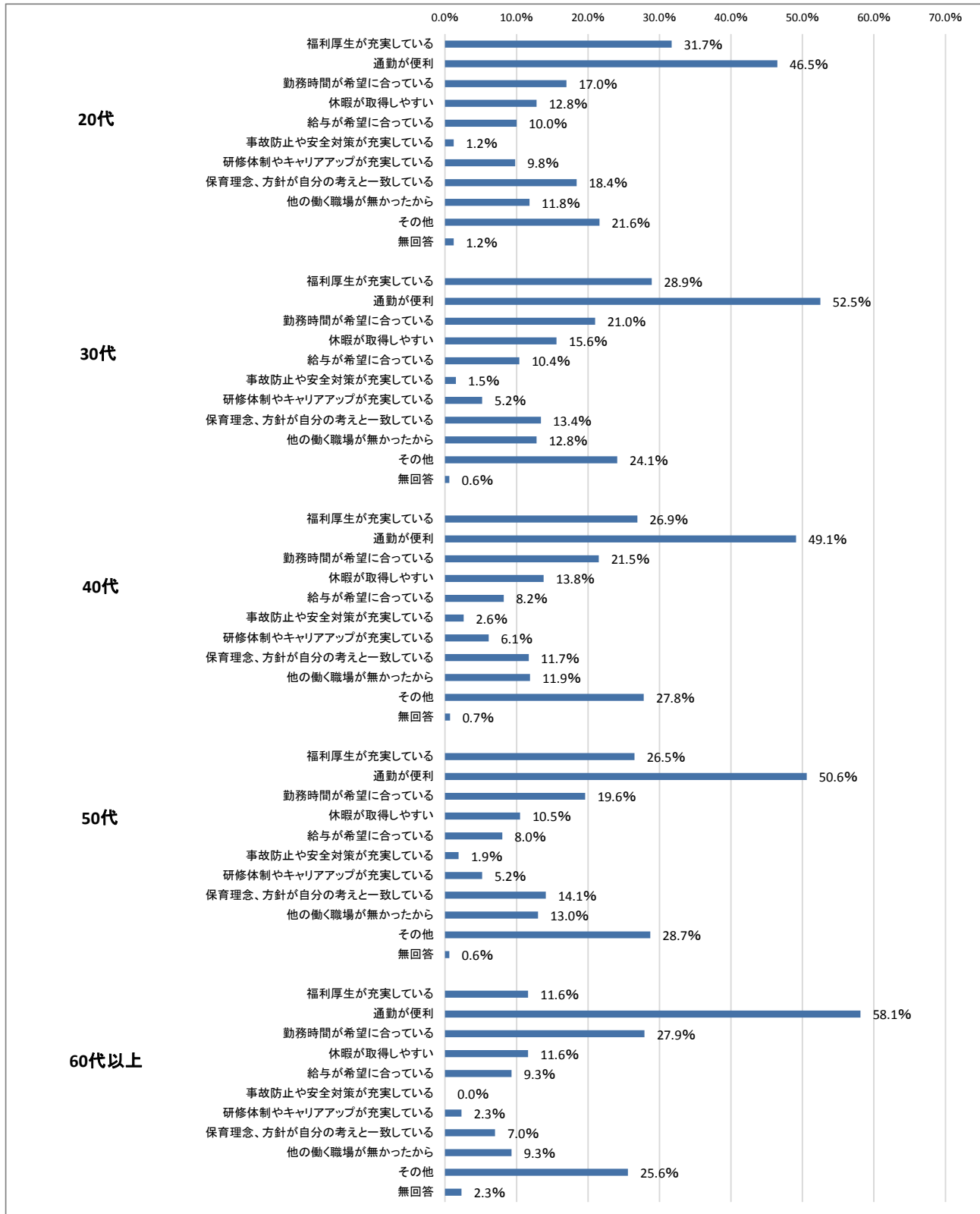
(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
福利厚生が充実している	533	28.0%
通勤が便利	949	49.9%
勤務時間が希望に合っている	376	19.8%
休暇が取得しやすい	252	13.2%
給与が希望に合っている	176	9.3%
事故防止や安全対策が充実している	32	1.7%
研修体制やキャリアアップが充実している	123	6.5%
保育理念、方針が自分の考えと一致している	269	14.1%
他の働く職場が無かったから	233	12.3%
その他	480	25.2%
無回答	19	1.0%

年代別では、すべての年代で「通勤が便利」が5割程度で最も高く、次いで20代～50代では「福利厚生が充実している」だが、60代以上では「勤務時間が希望に合っている」が高い。

* 「その他」を除く

<年代別集計図表>



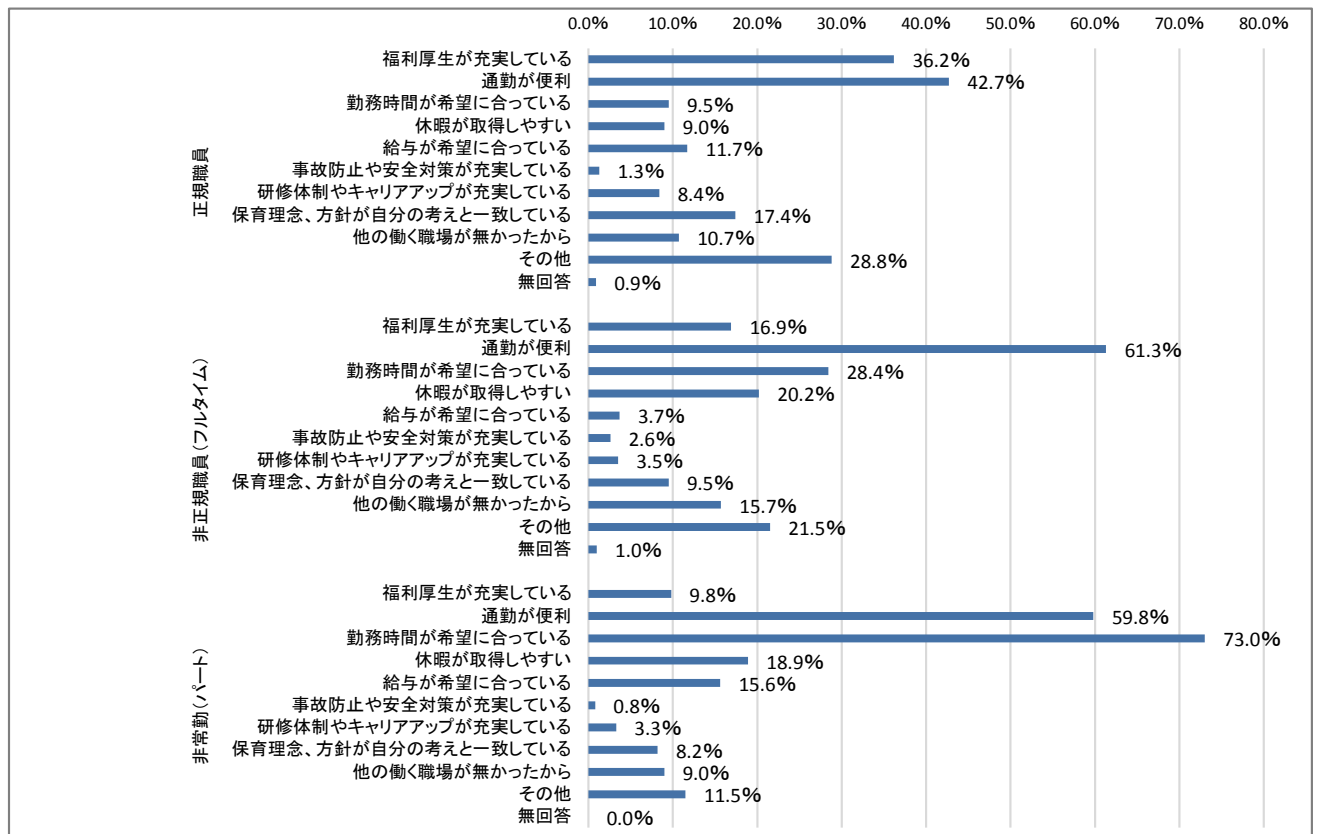
上段:回答数
下段:構成比

	合計	福利厚生が充実している	通勤が便利	勤務時間が希望に合っている	休暇が取得しやすい	給与が希望に合っている	事故防止や安全対策が充実している	研修体制やキャリアアップが充実している	保育理念、方針が自分の考えと一致している	他の働く職場が無かったから	その他	無回答
合計	1,902	533	949	376	252	176	32	123	269	233	480	19
	100.0%	28.0%	49.9%	19.8%	13.2%	9.3%	1.7%	6.5%	14.1%	12.3%	25.2%	1.0%
20代	499	158	232	85	64	50	6	49	92	59	108	6
	100.0%	31.7%	46.5%	17.0%	12.8%	10.0%	1.2%	9.8%	18.4%	11.8%	21.6%	1.2%
30代	539	156	283	113	84	56	8	28	72	69	130	3
	100.0%	28.9%	52.5%	21.0%	15.6%	10.4%	1.5%	5.2%	13.4%	12.8%	24.1%	0.6%
40代	428	115	210	92	59	35	11	26	50	51	119	3
	100.0%	26.9%	49.1%	21.5%	13.8%	8.2%	2.6%	6.1%	11.7%	11.9%	27.8%	0.7%
50代	362	96	183	71	38	29	7	19	51	47	104	2
	100.0%	26.5%	50.6%	19.6%	10.5%	8.0%	1.9%	5.2%	14.1%	13.0%	28.7%	0.6%
60代以上	43	5	25	12	5	4	-	1	3	4	11	1
	100.0%	11.6%	58.1%	27.9%	11.6%	9.3%	-	2.3%	7.0%	9.3%	25.6%	2.3%
無回答	31	3	16	3	2	2	-	-	1	3	8	4
	100.0%	9.7%	51.6%	9.7%	6.5%	6.5%	-	-	3.2%	9.7%	25.8%	12.9%

雇用形態別では、正規職員、非正規職員（フルタイム）では「通勤が便利」が最も高く、非常勤（パート）では「勤務時間が希望に合っている」が最も高い。正規職員では「福利厚生が充実している」「研修体制やキャリアアップが充実している」「保育理念、方針が自分の考えと一致している」の割合が他の雇用形態と比較して高いのが特徴である。

* 「その他」を除く

<雇用形態別集計図表>



上段:回答数
 (複数回答) 下段:構成比

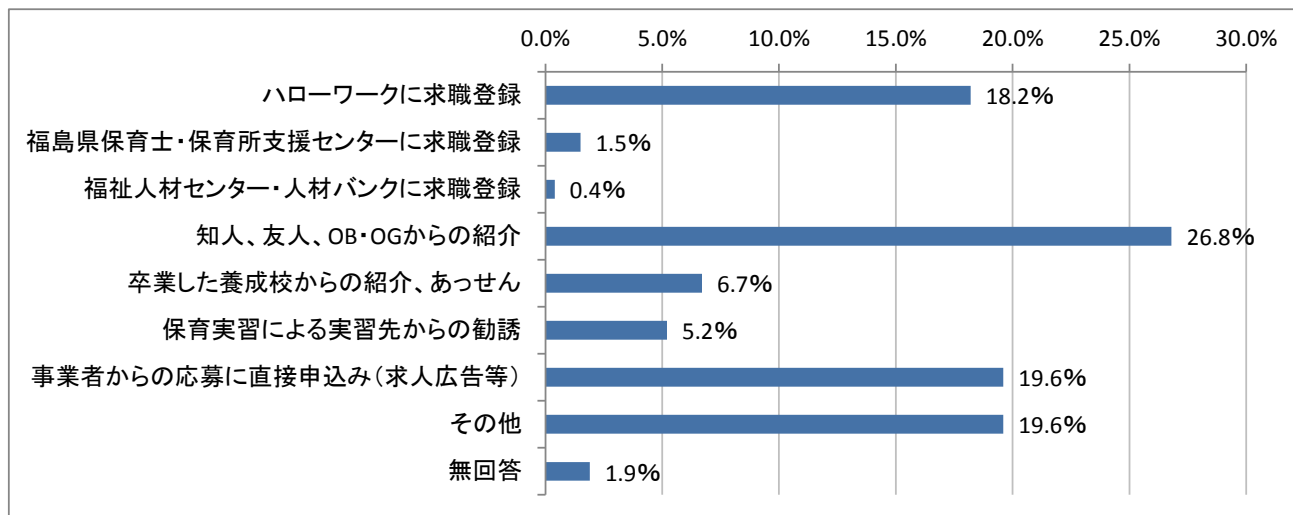
	合計	福利厚生が 充実している	通勤が便利	勤務時間が 希望に合っ ている	休暇が取得し やすい	給与が希望 に合っている	事故防止や 安全対策が 充実している	研修体制や キャリアアッ プが充実して いる	保育理念、方 針が自分の 考えと一致し ている	他の働く職場 が無かったか ら	その他	無回答
合計	1,902	533	949	376	252	176	32	123	269	233	480	19
	100.0%	28.0%	49.9%	19.8%	13.2%	9.3%	1.7%	6.5%	14.1%	12.3%	25.2%	1.0%
正規職員	1,150	416	491	109	103	134	15	97	200	123	331	10
	100.0%	36.2%	42.7%	9.5%	9.0%	11.7%	1.3%	8.4%	17.4%	10.7%	28.8%	0.9%
非正規職員(フル タイム)	623	105	382	177	126	23	16	22	59	98	134	6
	100.0%	16.9%	61.3%	28.4%	20.2%	3.7%	2.6%	3.5%	9.5%	15.7%	21.5%	1.0%
非常勤(パート)	122	12	73	89	23	19	1	4	10	11	14	-
	100.0%	9.8%	59.8%	73.0%	18.9%	15.6%	0.8%	3.3%	8.2%	9.0%	11.5%	0.0%
無回答	7	-	3	1	-	-	-	-	-	1	1	3
	100.0%	-	42.9%	14.3%	-	-	-	-	-	14.3%	14.3%	42.9%

問 11 現在の職場への就業のきっかけ＜1つ選択＞

現在勤務している保育所・認定こども園への就業のきっかけは、「知人、友人、OB・OGからの紹介」が26.8%で最も高く、次いで「事業者からの応募に直接申込み（求人広告等）」が19.6%、「ハローワークに求職登録」が18.2%と続く。

* 「その他」を除く

＜単純集計図表＞



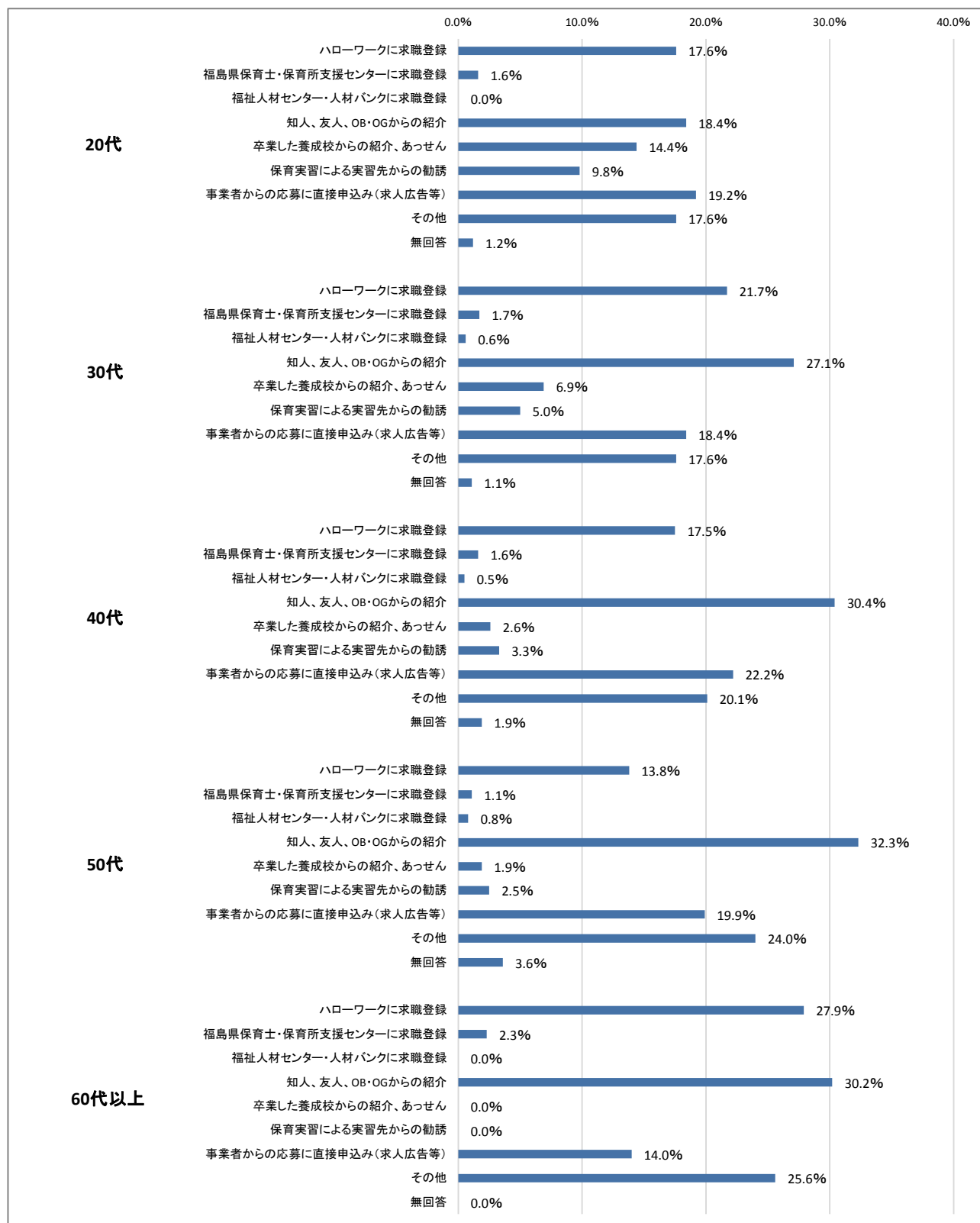
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
ハローワークに求職登録	347	18.2%
福島県保育士・保育所支援センターに求職登録	29	1.5%
福祉人材センター・人材バンクに求職登録	8	0.4%
知人、友人、OB・OGからの紹介	510	26.8%
卒業した養成校からの紹介、あっせん	128	6.7%
保育実習による実習先からの勧誘	99	5.2%
事業者からの応募に直接申込み(求人広告等)	373	19.6%
その他	372	19.6%
無回答	36	1.9%

年代別では、20代は「事業者からの応募に直接申込み（求人広告等）」が最も高い。30代～60代以上は「知人、友人、OB・OGからの紹介」が最も高く、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。他の年代と比較して、20代では「卒業した養成校からの紹介、あっせん」、60代以上では「ハローワークに求職登録」の割合が高いのが特徴である。

* 「その他」を除く

<年代別集計図表>



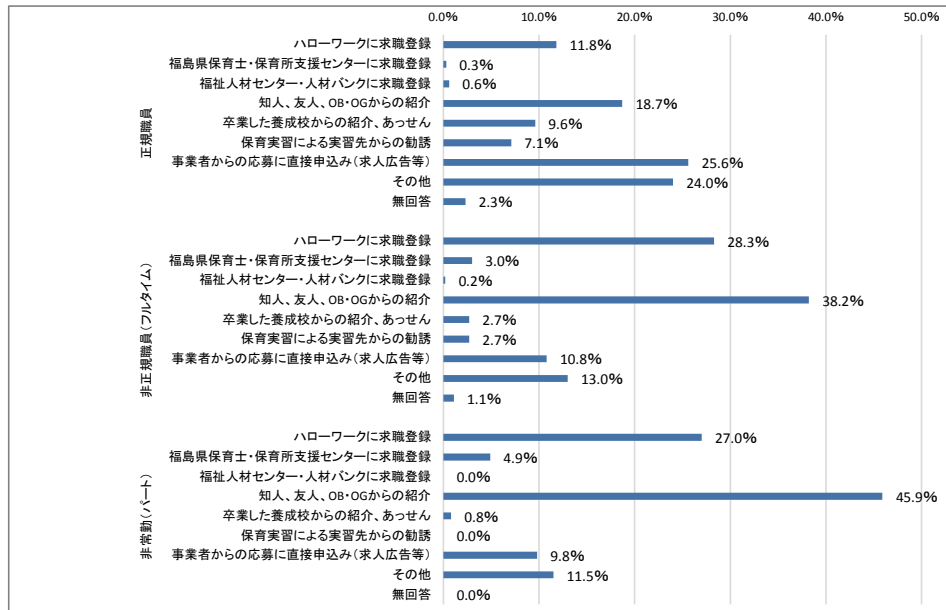
上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	ハローワーク に求職登録	福島県保育 士・保育所支 援センターに 求職登録	福祉人材セン ター・人材バ ンクに求職登 録	知人、友人、 OB・OGから の紹介	卒業した養成 校からの紹 介、あつせん	保育実習によ る実習先から の勧誘	事業者からの 応募に直接 申込み(求人 広告等)	その他	無回答
合計	1,902	347	29	8	510	128	99	373	372	36
	100.0%	18.2%	1.5%	0.4%	26.8%	6.7%	5.2%	19.6%	19.6%	1.9%
20代	499	88	8	-	92	72	49	96	88	6
	100.0%	17.6%	1.6%	-	18.4%	14.4%	9.8%	19.2%	17.6%	1.2%
30代	539	117	9	3	146	37	27	99	95	6
	100.0%	21.7%	1.7%	0.6%	27.1%	6.9%	5.0%	18.4%	17.6%	1.1%
40代	428	75	7	2	130	11	14	95	86	8
	100.0%	17.5%	1.6%	0.5%	30.4%	2.6%	3.3%	22.2%	20.1%	1.9%
50代	362	50	4	3	117	7	9	72	87	13
	100.0%	13.8%	1.1%	0.8%	32.3%	1.9%	2.5%	19.9%	24.0%	3.6%
60代以上	43	12	1	-	13	-	-	6	11	-
	100.0%	27.9%	2.3%	-	30.2%	-	-	14.0%	25.6%	-
無回答	31	5	-	-	12	1	-	5	5	3
	100.0%	16.1%	-	-	38.7%	3.2%	-	16.1%	16.1%	9.7%

雇用形態別では、正規職員では「事業者からの応募に直接申込み（求人広告等）」が最も高く、次いで「知人、友人、OB・OGからの紹介」であるが、非正規職員（フルタイム）と非常勤（パート）では「知人、友人、OB・OGからの紹介」が最も高く、次いで「ハローワークに求職登録」である。

* 「その他」を除く

<雇用形態別集計図表>



上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

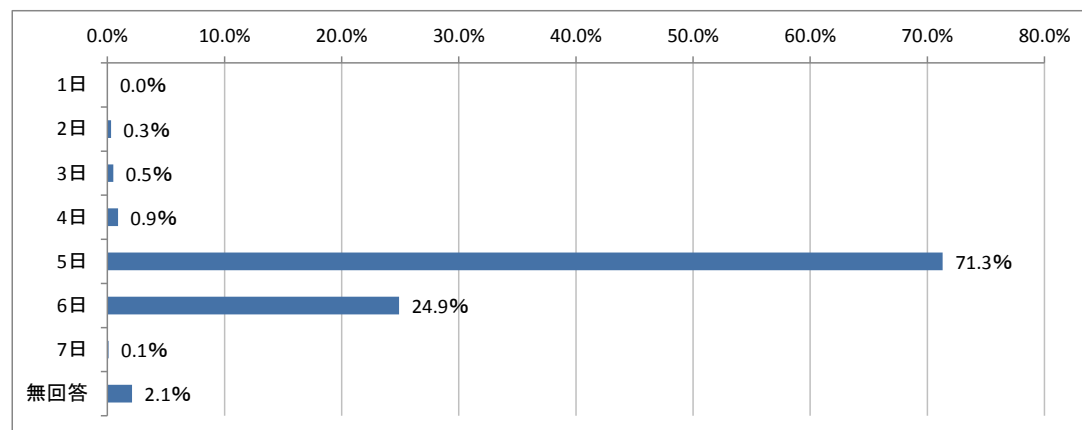
	合計	ハローワーク に求職登録	福島県保育 士・保育所支 援センターに 求職登録	福祉人材セン ター・人材バ ンクに求職登 録	知人、友人、 OB・OGから の紹介	卒業した養成 校からの紹 介、あつせん	保育実習によ る実習先から の勧誘	事業者からの 応募に直接 申込み(求人 広告等)	その他	無回答
合計	1,902	347	29	8	510	128	99	373	372	36
	100.0%	18.2%	1.5%	0.4%	26.8%	6.7%	5.2%	19.6%	19.6%	1.9%
正規職員	1,150	136	4	7	215	110	82	294	276	26
	100.0%	11.8%	0.3%	0.6%	18.7%	9.6%	7.1%	25.6%	24.0%	2.3%
非正規職員(フル タイム)	623	176	19	1	238	17	17	67	81	7
	100.0%	28.3%	3.0%	0.2%	38.2%	2.7%	2.7%	10.8%	13.0%	1.1%
非常勤(パート)	122	33	6	-	56	1	-	12	14	-
	100.0%	27.0%	4.9%	-	45.9%	0.8%	-	9.8%	11.5%	-
無回答	7	2	-	-	1	-	-	-	1	3
	100.0%	28.6%	-	-	14.3%	-	-	-	14.3%	42.9%

問 12 現在の職場に対する満足度

勤務日数

勤務日数は、「週 5 日」の割合が 71.3%で最も高く、「週 6 日」が 24.9%と続く。

<単純集計図表>



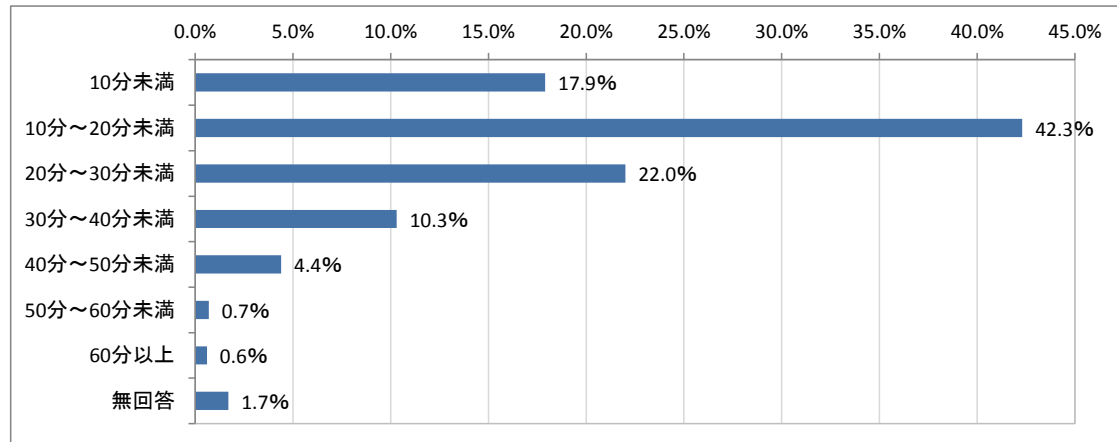
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
1日	-	-
2日	5	0.3%
3日	9	0.5%
4日	17	0.9%
5日	1,357	71.3%
6日	473	24.9%
7日	1	0.1%
無回答	40	2.1%

通勤時間

通勤時間は、「10分～20分未満」が42.3%と最も高く、「20分～30分未満」(22.0%)、「10分未満」(17.9%)と続く。

<単純集計図表>



(単回答)

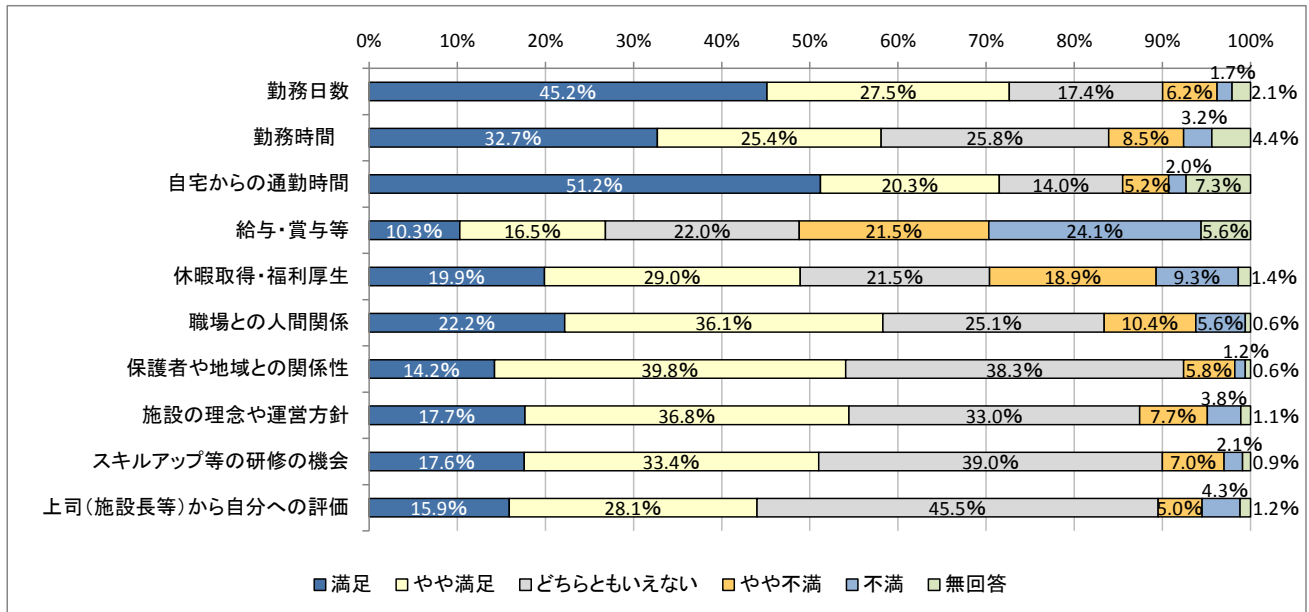
	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
10分未満	340	17.9%
10分以上～20分未満	804	42.3%
20分以上～30分未満	419	22.0%
30分以上～40分未満	196	10.3%
40分以上～50分未満	84	4.4%
50分以上～60分未満	14	0.7%
60分以上	12	0.6%
無回答	33	1.7%

満足度

「満足」と「やや満足」を合わせた満足層の割合は、勤務日数、自宅からの通勤時間が70%を超えて高い。また、勤務時間、職場との人間関係、施設の理念や運営方針、保護者や地域との関係性、スキルアップ等の研修の機会も半数を超えている。

一方、給与・賞与等、休暇取得・福利厚生、上司（施設長等）から自分への評価については満足層の割合は半数以下である。給与・賞与等については「不満」が24.1%で最も高く、「不満」と「やや不満」を合わせた不満層の割合が45.6%と高い。

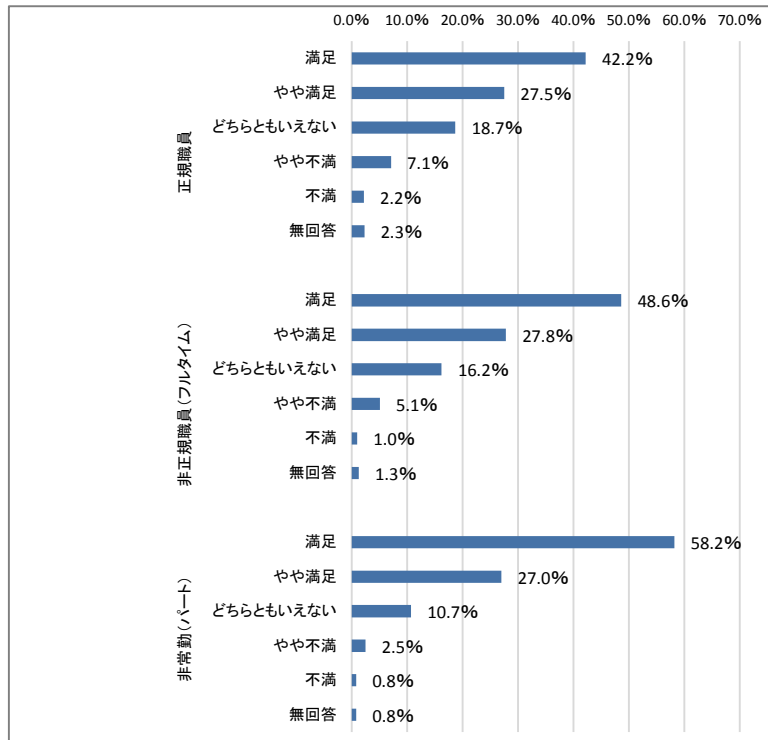
<単純集計図表>



	全体	上段: 回答数 (単回答) 下段: 構成比					
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
勤務日数	1,902	860	524	330	117	32	39
	100.0%	45.2%	27.5%	17.4%	6.2%	1.7%	2.1%
勤務時間	1,902	622	484	490	161	61	84
	100.0%	32.7%	25.4%	25.8%	8.5%	3.2%	4.4%
自宅からの通勤時間	1,902	974	387	266	98	38	139
	100.0%	51.2%	20.3%	14.0%	5.2%	2.0%	7.3%
給与・賞与等	1,902	196	313	419	409	459	106
	100.0%	10.3%	16.5%	22.0%	21.5%	24.1%	5.6%
休暇取得・福利厚生	1,902	379	551	409	360	177	26
	100.0%	19.9%	29.0%	21.5%	18.9%	9.3%	1.4%
職場との人間関係	1,902	423	686	477	198	106	12
	100.0%	22.2%	36.1%	25.1%	10.4%	5.6%	0.6%
保護者や地域との関係性	1,902	270	757	729	111	23	12
	100.0%	14.2%	39.8%	38.3%	5.8%	1.2%	0.6%
施設の理念や運営方針	1,902	336	700	628	146	72	20
	100.0%	17.7%	36.8%	33.0%	7.7%	3.8%	1.1%
スキルアップ等の研修の機会	1,902	335	636	741	134	39	17
	100.0%	17.6%	33.4%	39.0%	7.0%	2.1%	0.9%
上司(施設長等)から自分への評価	1,902	302	534	866	96	81	23
	100.0%	15.9%	28.1%	45.5%	5.0%	4.3%	1.2%

雇用形態別にみた勤務日数に対する満足度では、いずれの形態でも「満足」の割合が最も高いが、特に非常勤（パート）の「満足」が58.2%で最も高い。

<雇用形態別 勤務日数 集計図表>

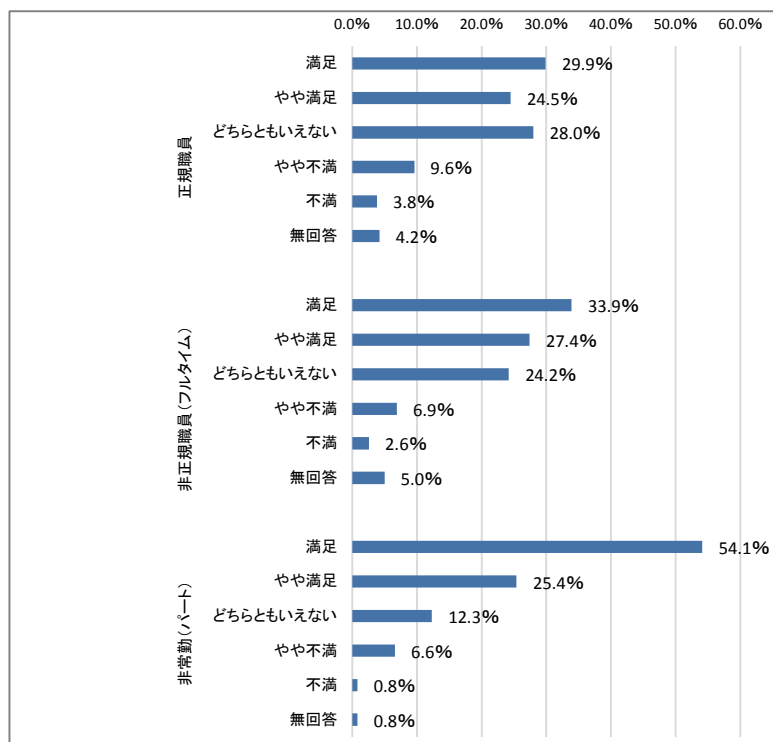


上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	860	524	330	117	32	39
	100.0%	45.2%	27.5%	17.4%	6.2%	1.7%	2.1%
正規職員	1,150	485	316	215	82	25	27
	100.0%	42.2%	27.5%	18.7%	7.1%	2.2%	2.3%
非正規職員(フルタイム)	623	303	173	101	32	6	8
	100.0%	48.6%	27.8%	16.2%	5.1%	1.0%	1.3%
非常勤(パート)	122	71	33	13	3	1	1
	100.0%	58.2%	27.0%	10.7%	2.5%	0.8%	0.8%
無回答	7	1	2	1	-	-	3
	100.0%	14.3%	28.6%	14.3%	-	-	42.9%

雇用形態別にみた勤務時間に対する満足度では、いずれの形態でも「満足」の割合が最も高いが、非常勤（パート）は54.1%が満足しているのに対し、正規職員の「満足」の割合は29.9%と差が大きい。

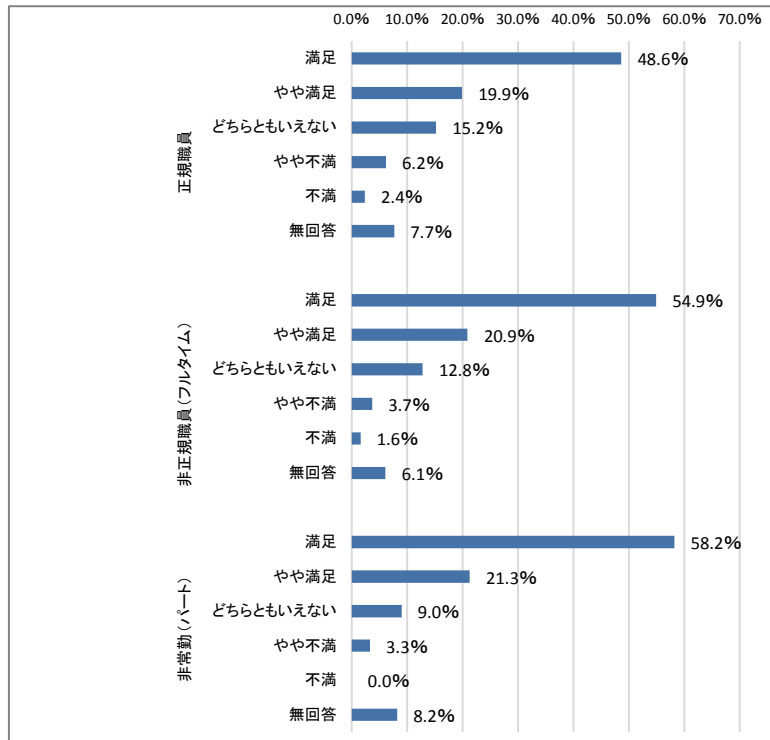
<雇用形態別 勤務時間 集計図表>



	合計	上段: 回答数 (単回答) 下段: 構成比					
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	622	484	490	161	61	84
	100.0%	32.7%	25.4%	25.8%	8.5%	3.2%	4.4%
正規職員	1,150	344	282	322	110	44	48
	100.0%	29.9%	24.5%	28.0%	9.6%	3.8%	4.2%
非正規職員(フルタイム)	623	211	171	151	43	16	31
	100.0%	33.9%	27.4%	24.2%	6.9%	2.6%	5.0%
非常勤(パート)	122	66	31	15	8	1	1
	100.0%	54.1%	25.4%	12.3%	6.6%	0.8%	0.8%
無回答	7	1	-	2	-	-	4
	100.0%	14.3%	-	28.6%	-	-	57.1%

雇用形態別にみた通勤時間に対する満足度では、いずれの形態でも「満足」の割合が最も高く、特に非常勤（パート）の満足度が最も高い。

<雇用形態別 通勤時間 集計図表>

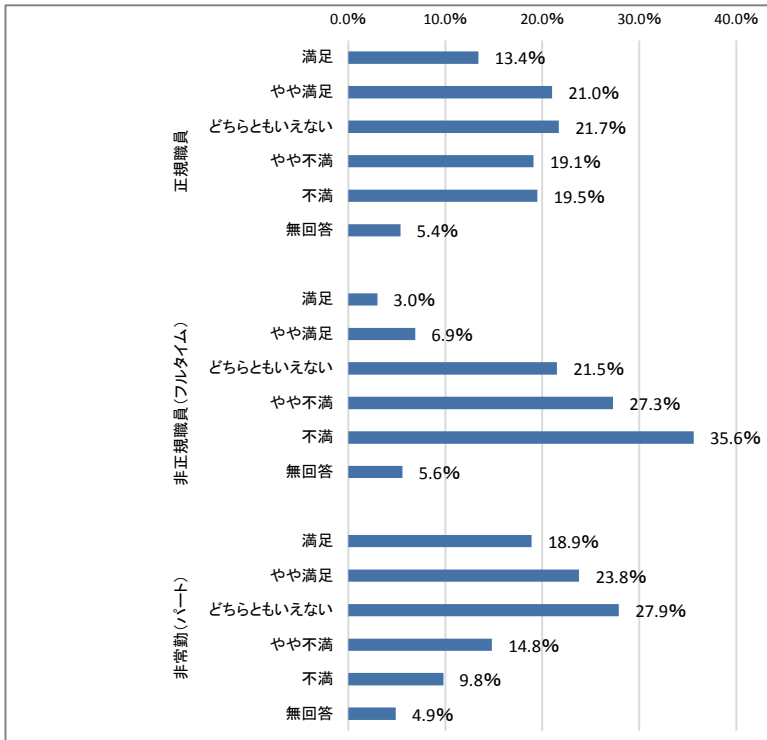


上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	974	387	266	98	38	139
	100.0%	51.2%	20.3%	14.0%	5.2%	2.0%	7.3%
正規職員	1,150	559	229	175	71	28	88
	100.0%	48.6%	19.9%	15.2%	6.2%	2.4%	7.7%
非正規職員(フルタイム)	623	342	130	80	23	10	38
	100.0%	54.9%	20.9%	12.8%	3.7%	1.6%	6.1%
非常勤(パート)	122	71	26	11	4	-	10
	100.0%	58.2%	21.3%	9.0%	3.3%	-	8.2%
無回答	7	2	2	-	-	-	3
	100.0%	28.6%	28.6%	-	-	-	42.9%

雇用形態別にみた給与・賞与に対する満足度は、正規職員では「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の割合が拮抗している。最も低い「満足」と大きな差はないが、非正規職員（フルタイム）では「満足」が最も低く、「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」と不満度が高まるほど割合が高くなり、「不満」と「やや不満」を合わせた不満層の割合は62.9%である。非常勤（パート）は「満足」と「やや満足」を合わせた満足層の割合（42.7%）が、「不満」と「やや不満」を合わせた不満層の割合（24.6%）を上回っている。

<雇用形態別 給与・賞与 集計図表>

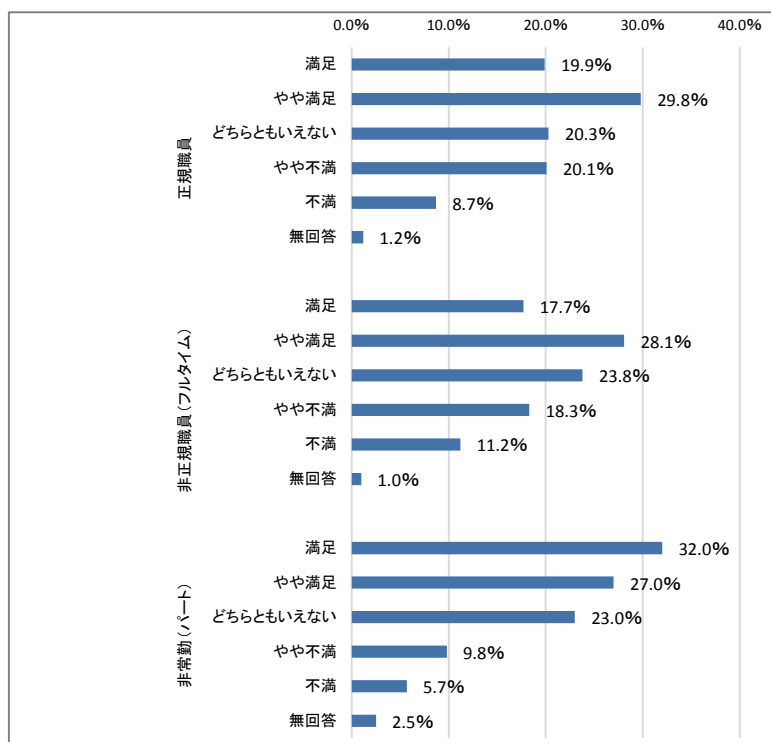


上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	196	313	419	409	459	106
	100.0%	10.3%	16.5%	22.0%	21.5%	24.1%	5.6%
正規職員	1,150	154	241	249	220	224	62
	100.0%	13.4%	21.0%	21.7%	19.1%	19.5%	5.4%
非正規職員(フルタイム)	623	19	43	134	170	222	35
	100.0%	3.0%	6.9%	21.5%	27.3%	35.6%	5.6%
非常勤(パート)	122	23	29	34	18	12	6
	100.0%	18.9%	23.8%	27.9%	14.8%	9.8%	4.9%
無回答	7	-	-	2	1	1	3
	100.0%	-	-	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%

雇用形態別にみた休暇取得・福利厚生に対する満足度は、正規職員と非正規職員（フルタイム）では「やや満足」の割合が最も高く、「満足」と「やや満足」を合わせた満足層の割合が5割近く、「不満」と「やや不満」を合わせた不満層の割合が3割近くであるが、非常勤（パート）は「満足」と「やや満足」を合わせた満足層の割合が59.0%と高く、「不満」と「やや不満」を合わせた不満層の割合を大きく上回っている。

<雇用形態別 休暇取得・福利厚生 集計図表>

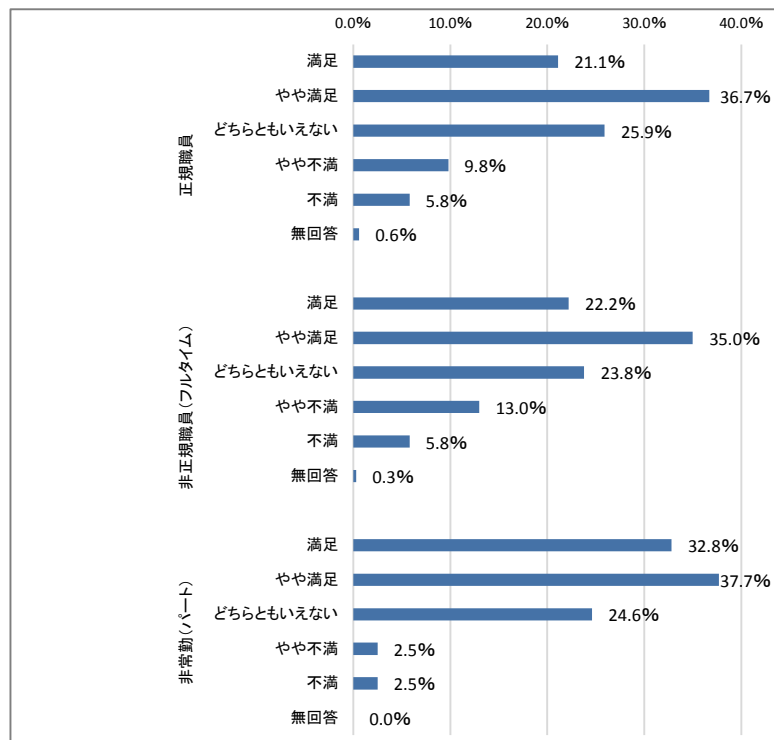


上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	379	551	409	360	177	26
	100.0%	19.9%	29.0%	21.5%	18.9%	9.3%	1.4%
正規職員	1,150	229	343	233	231	100	14
	100.0%	19.9%	29.8%	20.3%	20.1%	8.7%	1.2%
非正規職員(フルタイム)	623	110	175	148	114	70	6
	100.0%	17.7%	28.1%	23.8%	18.3%	11.2%	1.0%
非常勤(パート)	122	39	33	28	12	7	3
	100.0%	32.0%	27.0%	23.0%	9.8%	5.7%	2.5%
無回答	7	1	-	-	3	-	3
	100.0%	14.3%	-	-	42.9%	-	42.9%

雇用形態別にみた職場との人間関係に対する満足度は、いずれの形態でも「やや満足」の割合が最も高く、「満足」と「やや満足」を合わせた満足層の割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた不満層の割合を大きく上回っている。特に非常勤（パート）では満足層の割合が70.5%と高く、不満層は5.0%と低い。

<雇用形態別 職場との人間関係 集計図表>

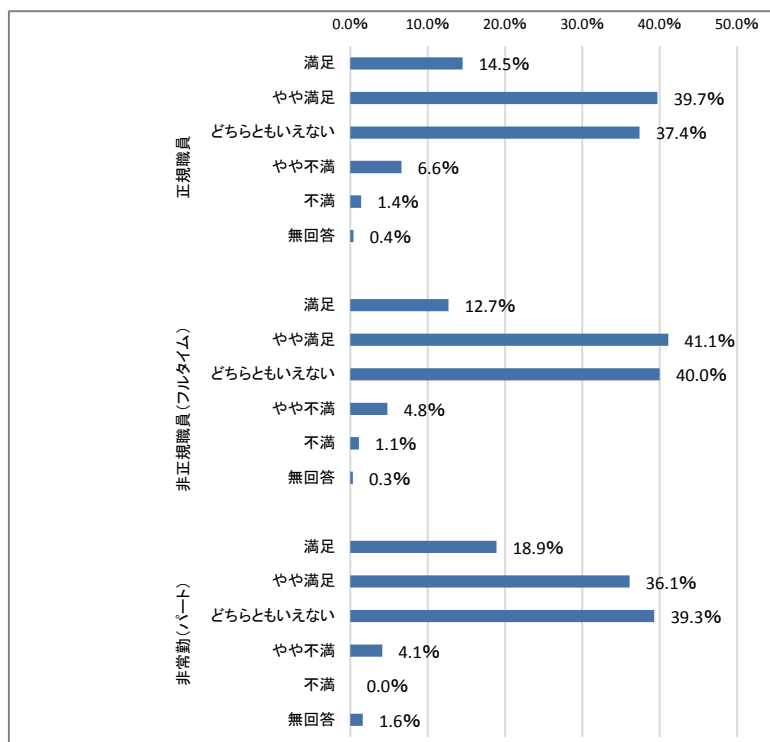


上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	423	686	477	198	106	12
	100.0%	22.2%	36.1%	25.1%	10.4%	5.6%	0.6%
正規職員	1,150	243	422	298	113	67	7
	100.0%	21.1%	36.7%	25.9%	9.8%	5.8%	0.6%
非正規職員(フルタイム)	623	138	218	148	81	36	2
	100.0%	22.2%	35.0%	23.8%	13.0%	5.8%	0.3%
非常勤(パート)	122	40	46	30	3	3	-
	100.0%	32.8%	37.7%	24.6%	2.5%	2.5%	-
無回答	7	2	-	1	1	-	3
	100.0%	28.6%	-	14.3%	14.3%	-	42.9%

雇用形態別にみた保護者や地域との関係性に対する満足度は、いずれの形態でも「やや満足」と「どちらともいえない」がともに4割程度で、次いで「満足」である。いずれの雇用形態も満足層の割合が不満層の割合を大きく上回っている。

<雇用形態別 保護者や地域との関係性 集計図表>

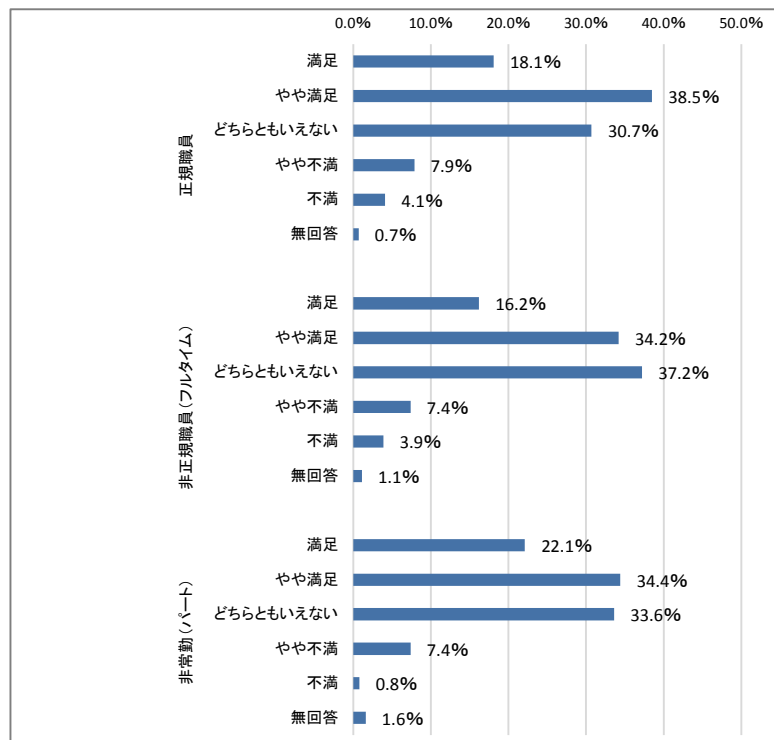


上段:回答数
(単回答) 下段:構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	270	757	729	111	23	12
	100.0%	14.2%	39.8%	38.3%	5.8%	1.2%	0.6%
正規職員	1,150	167	456	430	76	16	5
	100.0%	14.5%	39.7%	37.4%	6.6%	1.4%	0.4%
非正規職員(フルタイム)	623	79	256	249	30	7	2
	100.0%	12.7%	41.1%	40.0%	4.8%	1.1%	0.3%
非常勤(パート)	122	23	44	48	5	-	2
	100.0%	18.9%	36.1%	39.3%	4.1%	-	1.6%
無回答	7	1	1	2	-	-	3
	100.0%	14.3%	14.3%	28.6%	-	-	42.9%

雇用形態別にみた施設の理念や運営方針に対する満足度は、正規職員では「やや満足」の割合が最も高いものの、非正規職員（フルタイム）と非常勤（パート）では「やや満足」と「どちらともいえない」が同程度である。いずれの雇用形態も満足層の割合が不満層の割合を大きく上回っている。

<雇用形態別 施設の理念や運営方針 集計図表>

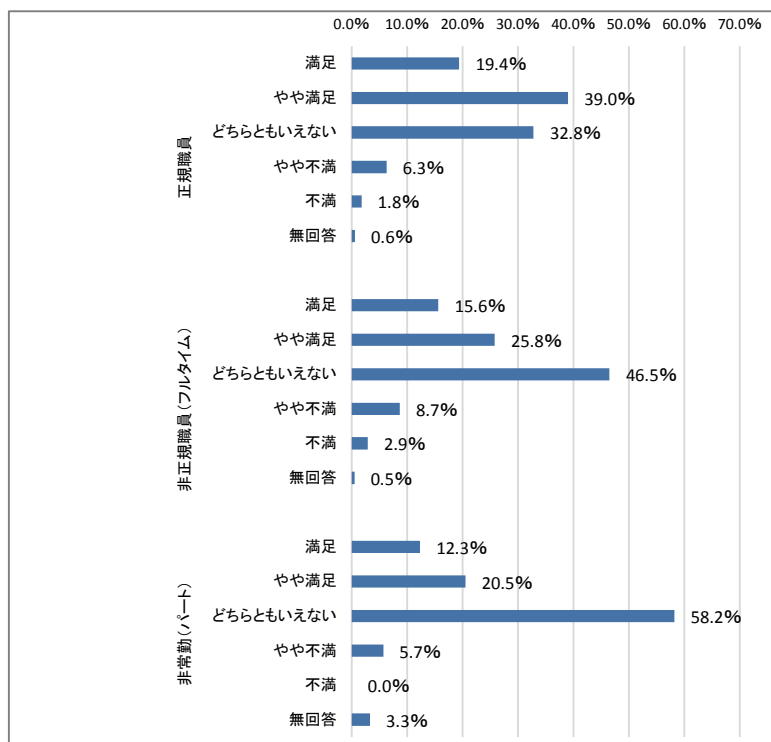


上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	336	700	628	146	72	20
	100.0%	17.7%	36.8%	33.0%	7.7%	3.8%	1.1%
正規職員	1,150	208	443	353	91	47	8
	100.0%	18.1%	38.5%	30.7%	7.9%	4.1%	0.7%
非正規職員(フルタイム)	623	101	213	232	46	24	7
	100.0%	16.2%	34.2%	37.2%	7.4%	3.9%	1.1%
非常勤(パート)	122	27	42	41	9	1	2
	100.0%	22.1%	34.4%	33.6%	7.4%	0.8%	1.6%
無回答	7	-	2	2	-	-	3
	100.0%	-	28.6%	28.6%	-	-	42.9%

雇用形態別にみたスキルアップ等の研修の機会に対する満足度は、正規職員では「やや満足」の割合が最も高いものの、非正規職員（フルタイム）と非常勤（パート）では「どちらともいえない」が最も高い。正規職員では満足層の割合が不満層の割合を大きく上回っているが、非正規職員（フルタイム）と非常勤（パート）では差が小さい。

<雇用形態別 スキルアップ等の研修の機会 集計図表>

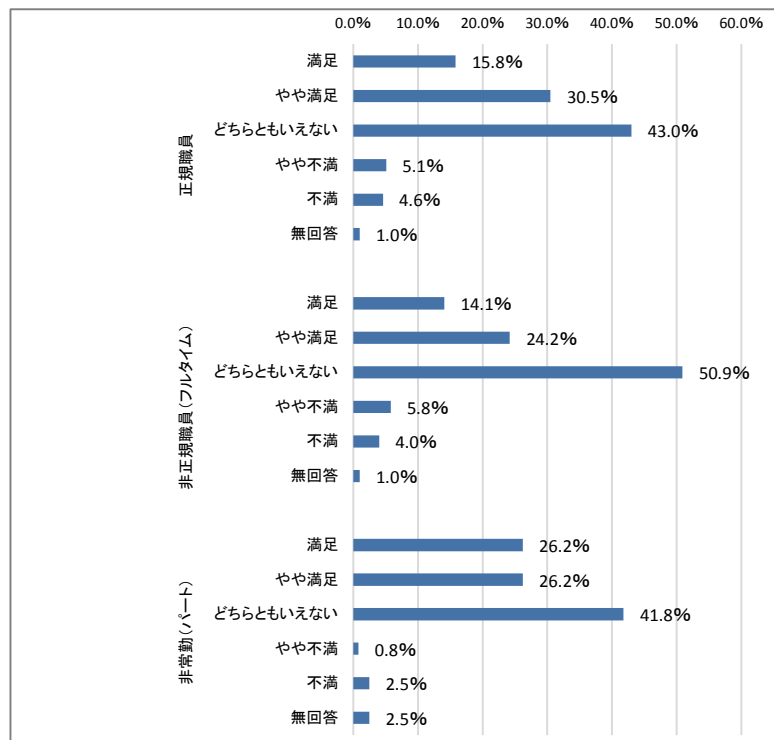


上段: 回答数
下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	335	636	741	134	39	17
	100.0%	17.6%	33.4%	39.0%	7.0%	2.1%	0.9%
正規職員	1,150	223	449	377	73	21	7
	100.0%	19.4%	39.0%	32.8%	6.3%	1.8%	0.6%
非正規職員(フルタイム)	623	97	161	290	54	18	3
	100.0%	15.6%	25.8%	46.5%	8.7%	2.9%	0.5%
非常勤(パート)	122	15	25	71	7	-	4
	100.0%	12.3%	20.5%	58.2%	5.7%	-	3.3%
無回答	7	-	1	3	-	-	3
	100.0%	-	14.3%	42.9%	-	-	42.9%

雇用形態別にみた上司（施設長等）から自分への評価に対する満足度は、いずれの形態も「どちらともいえない」の割合が最も高く、正規職員と非正規職員（フルタイム）では、以下「やや満足」「満足」の順であるが、非常勤（パート）では「満足」と「やや満足」が同割合で、合わせた満足層の割合が半数を超えている。

<雇用形態別 上司（施設長等）から自分への評価 集計図表>



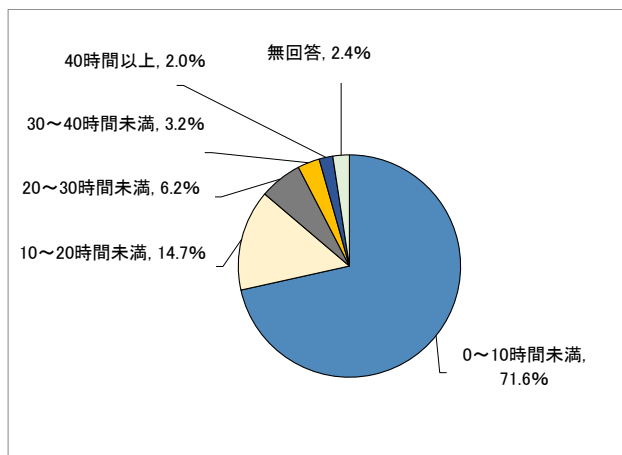
上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,902	302	534	866	96	81	23
	100.0%	15.9%	28.1%	45.5%	5.0%	4.3%	1.2%
正規職員	1,150	182	351	494	59	53	11
	100.0%	15.8%	30.5%	43.0%	5.1%	4.6%	1.0%
非正規職員(フルタイム)	623	88	151	317	36	25	6
	100.0%	14.1%	24.2%	50.9%	5.8%	4.0%	1.0%
非常勤(パート)	122	32	32	51	1	3	3
	100.0%	26.2%	26.2%	41.8%	0.8%	2.5%	2.5%
無回答	7	-	-	4	-	-	3
	100.0%	-	-	57.1%	-	-	42.9%

問 13 月平均の残業時間

毎月平均の残業時間は、「0～10 時間未満」が 71.6%で最も高い。

<単純集計図表>



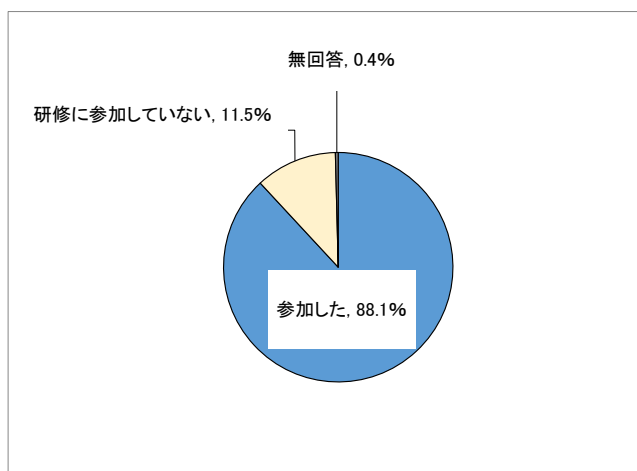
(単回答)		
	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
0～10時間未満	1,361	71.6%
10～20時間未満	280	14.7%
20～30時間未満	118	6.2%
30～40時間未満	60	3.2%
40時間以上	38	2.0%
無回答	45	2.4%

問 14 最近 1 年間の研修への参加状況

最近 1 年間の研修への参加状況は、「参加した」が 88.1%、「参加していない」が 11.5%である。

参加状況

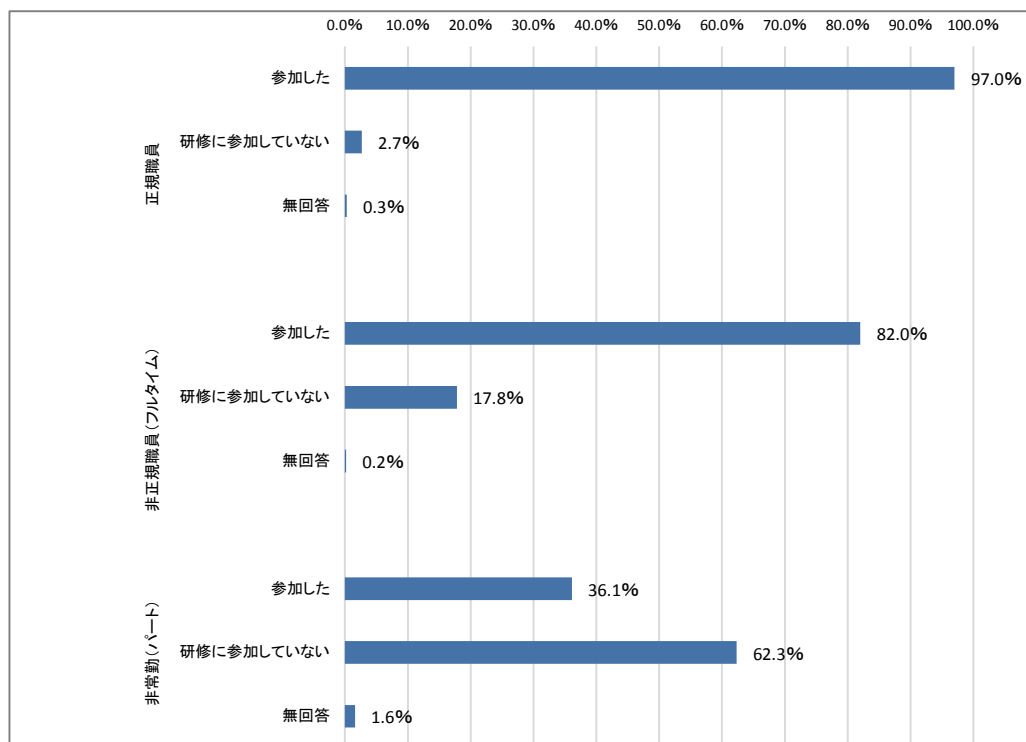
<単純集計図表>



(単回答)		
	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
参加した	1,676	88.1%
研修に参加していない	219	11.5%
無回答	7	0.4%

雇用形態別では、正規職員では97.0%が「参加した」、非正規職員（フルタイム）でも82.0%が「参加した」と回答しているが、非常勤（パート）では「参加していない」が62.3%で、「参加した」（36.1%）を大きく上回っている。

<雇用形態別集計図表>



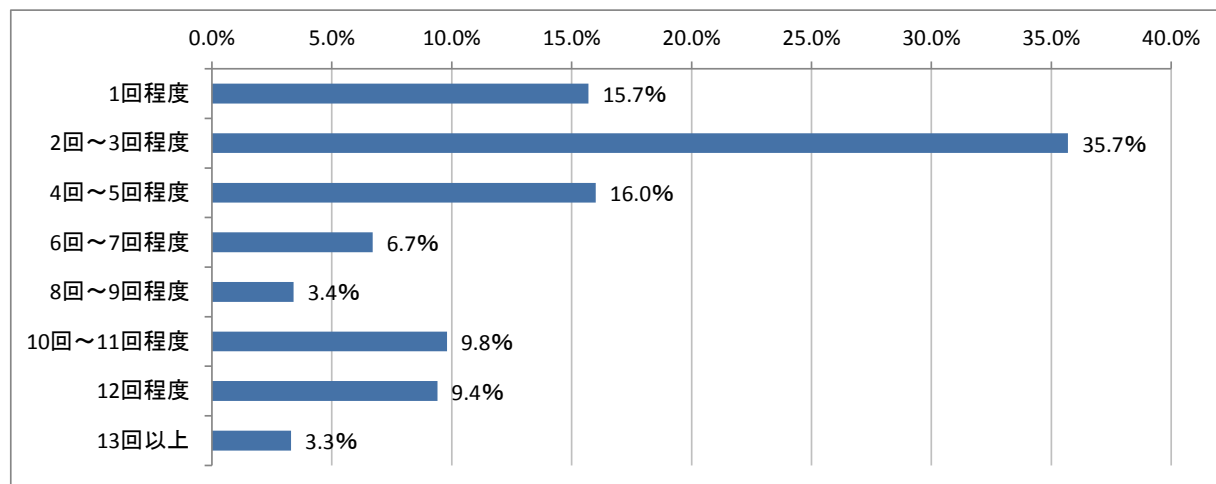
上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	参加した	研修に参加していない	無回答
合計	1,902	1,676	219	7
	100.0%	88.1%	11.5%	0.4%
正規職員	1,150	1,115	31	4
	100.0%	97.0%	2.7%	0.3%
非正規職員(フルタイム)	623	511	111	1
	100.0%	82.0%	17.8%	0.2%
非常勤(パート)	122	44	76	2
	100.0%	36.1%	62.3%	1.6%
無回答	7	6	1	-
	100.0%	85.7%	14.3%	-

参加回数（施設内の研修）

施設内の研修の参加回数では、「2回～3回程度」が35.7%で最も高く、「4回～5回程度」（16.0%）、「1回程度」（15.7%）と続いている。

<単純集計図表>

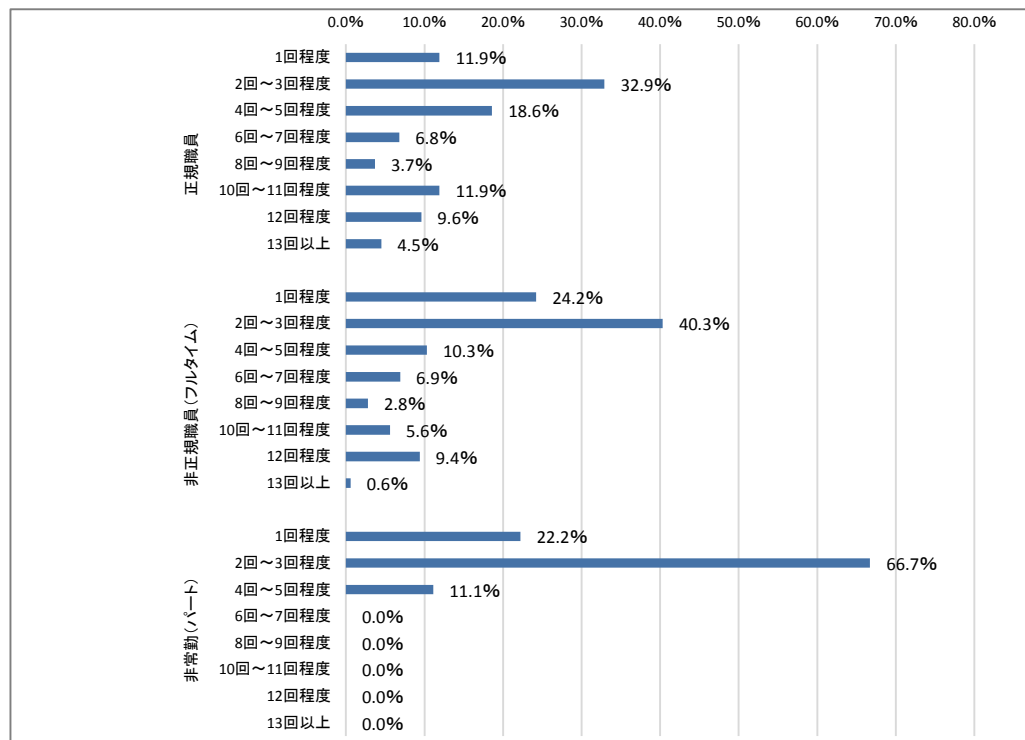


(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,256	100.0%
1回程度	197	15.7%
2回～3回程度	449	35.7%
4回～5回程度	201	16.0%
6回～7回程度	84	6.7%
8回～9回程度	43	3.4%
10回～11回程度	123	9.8%
12回程度	118	9.4%
13回以上	41	3.3%

雇用形態別の施設内の研修の参加回数では、いずれの形態も「2回～3回程度」が最も高いが、6回以上の参加者の割合が、正規職員では合わせて36.5%、非正規職員（フルタイム）では25.3%であるのに対し、非常勤（パート）では0%である。

<雇用形態別集計図表>



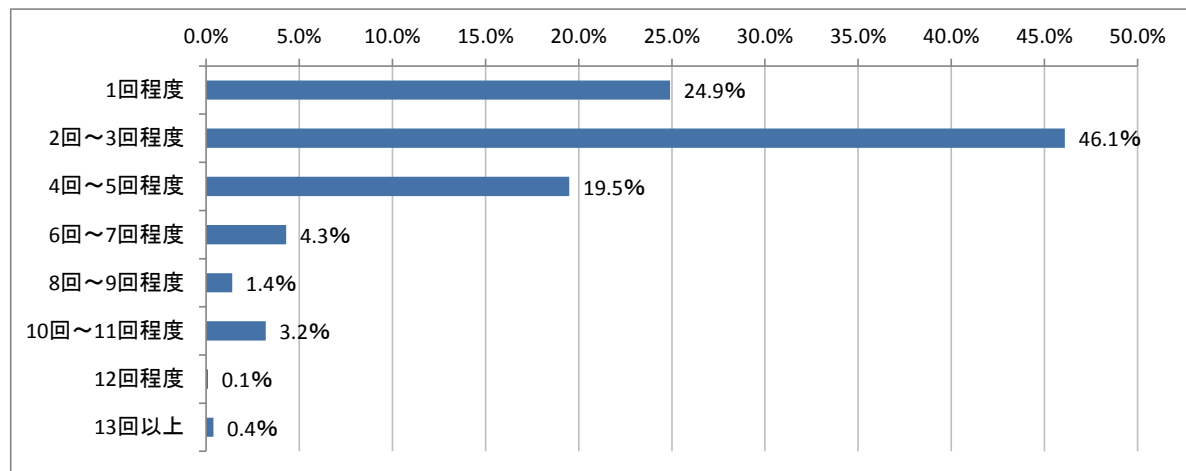
上段: 回答数
(単回答) 下段: 構成比

	合計	1回程度	2回～3回程度	4回～5回程度	6回～7回程度	8回～9回程度	10回～11回程度	12回程度	13回以上
合計	1,256	197	449	201	84	43	123	118	41
	100.0%	15.7%	35.7%	16.0%	6.7%	3.4%	9.8%	9.4%	3.3%
正規職員	865	103	285	161	59	32	103	83	39
	100.0%	11.9%	32.9%	18.6%	6.8%	3.7%	11.9%	9.6%	4.5%
非正規職員(フルタイム)	360	87	145	37	25	10	20	34	2
	100.0%	24.2%	40.3%	10.3%	6.9%	2.8%	5.6%	9.4%	0.6%
非常勤(パート)	27	6	18	3	-	-	-	-	-
	100.0%	22.2%	66.7%	11.1%	-	-	-	-	-
無回答	4	1	1	-	-	1	-	1	-
	100.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%	-	25.0%	-

参加回数（施設外の研修）

施設外の研修の参加回数では、「2回～3回程度」が46.1%で最も高く、「1回程度」(24.9%)、「4回～5回程度」(19.5%)と続いている。

<単純集計図表>

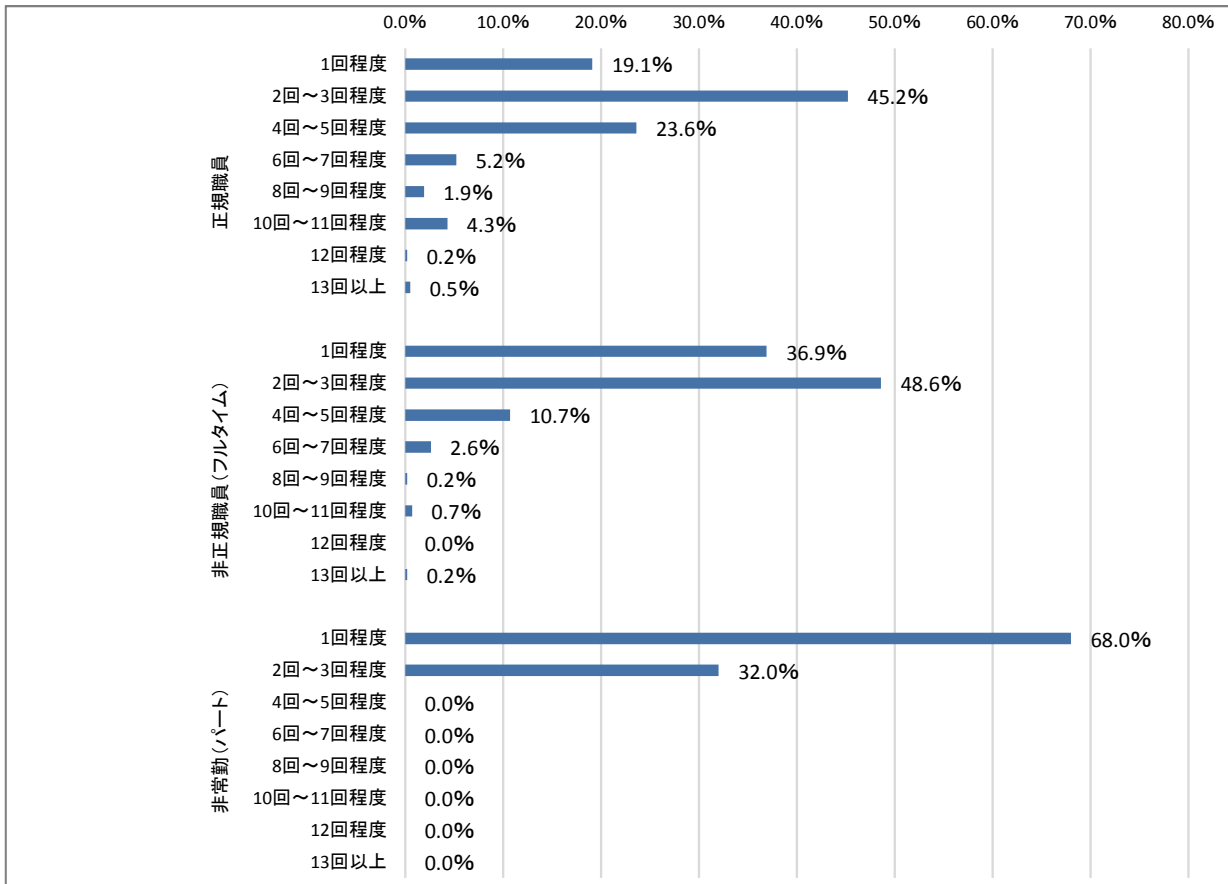


(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,497	100.0%
1回程度	373	24.9%
2回～3回程度	690	46.1%
4回～5回程度	292	19.5%
6回～7回程度	65	4.3%
8回～9回程度	21	1.4%
10回～11回程度	48	3.2%
12回程度	2	0.1%
13回以上	6	0.4%

雇用形態別の施設外の研修の参加回数では、正規職員と非正規職員（フルタイム）では「2回～3回程度」が最も高く、次いで正規職員では「4回～5回程度」、非正規職員（フルタイム）では「1回程度」である。どちらもわずかながら「13回以上」までの参加者がいる。一方、非常勤（パート）では「1回程度」が68.0%と最も高く、4回以上の参加者は0%である。

<雇用形態別集計図表>



上段: 回答数
下段: 構成比

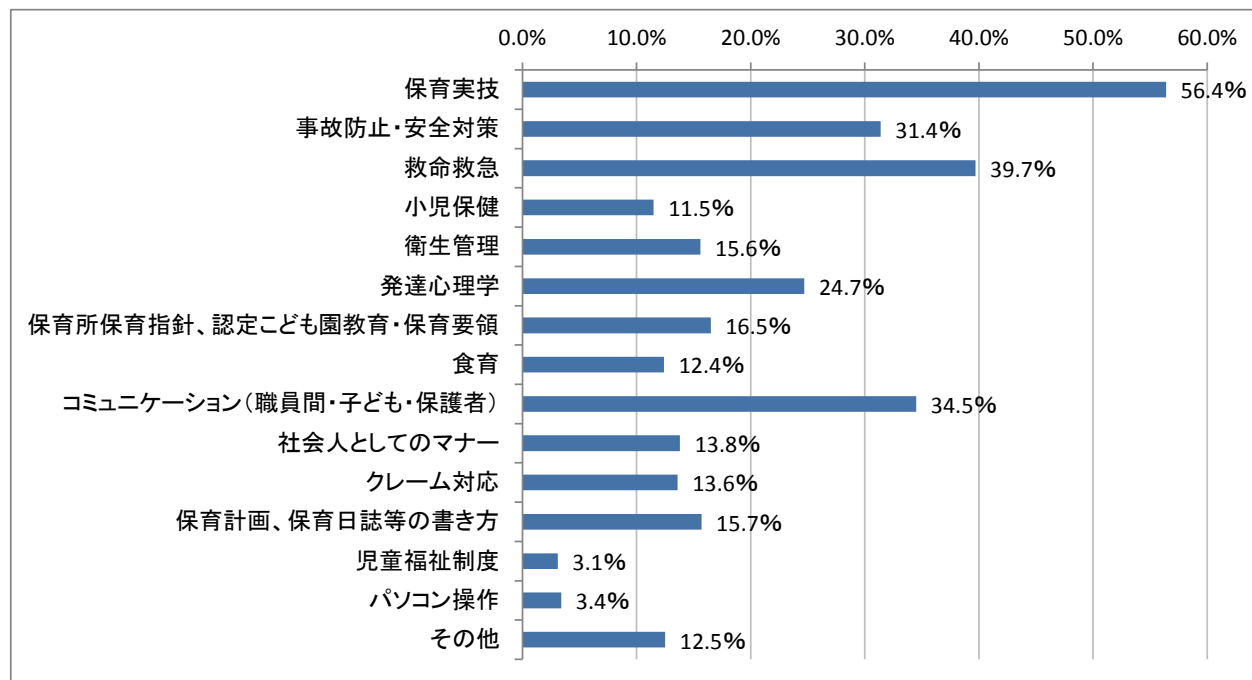
	合計	1回程度	2回～3回程度	4回～5回程度	6回～7回程度	8回～9回程度	10回～11回程度	12回程度	13回以上
合計	1,497	373	690	292	65	21	48	2	6
	100.0%	24.9%	46.1%	19.5%	4.3%	1.4%	3.2%	0.1%	0.4%
正規職員	1,039	198	470	245	54	20	45	2	5
	100.0%	19.1%	45.2%	23.6%	5.2%	1.9%	4.3%	0.2%	0.5%
非正規職員(フルタイム)	428	158	208	46	11	1	3	-	1
	100.0%	36.9%	48.6%	10.7%	2.6%	0.2%	0.7%	-	0.2%
非常勤(パート)	25	17	8	-	-	-	-	-	-
	100.0%	68.0%	32.0%	-	-	-	-	-	-
無回答	5	-	4	1	-	-	-	-	-
	100.0%	-	80.0%	20.0%	-	-	-	-	-

問 14-1 受けた研修の内容〈あてはまるものすべて〉

最近1年間に研修に参加した回答者が受けた研修の内容は、「保育実技」が56.4%で最も高い。次いで「救命救急」(39.7%)、「コミュニケーション(職員間・子ども・保護者)」(34.5%)、「事故防止・安全対策」(31.4%)などが高い。

「その他」の回答では、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」に関しての内容が多い。

＜単純集計図表＞



(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,659	100.0%
保育実技	936	56.4%
事故防止・安全対策	521	31.4%
救命救急	659	39.7%
小児保健	190	11.5%
衛生管理	258	15.6%
発達心理学	409	24.7%
保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領	273	16.5%
食育	205	12.4%
コミュニケーション(職員間・子ども・保護者)	573	34.5%
社会人としてのマナー	229	13.8%
クレーム対応	226	13.6%
保育計画、保育日誌等の書き方	260	15.7%
児童福祉制度	51	3.1%
パソコン操作	57	3.4%
その他	207	12.5%

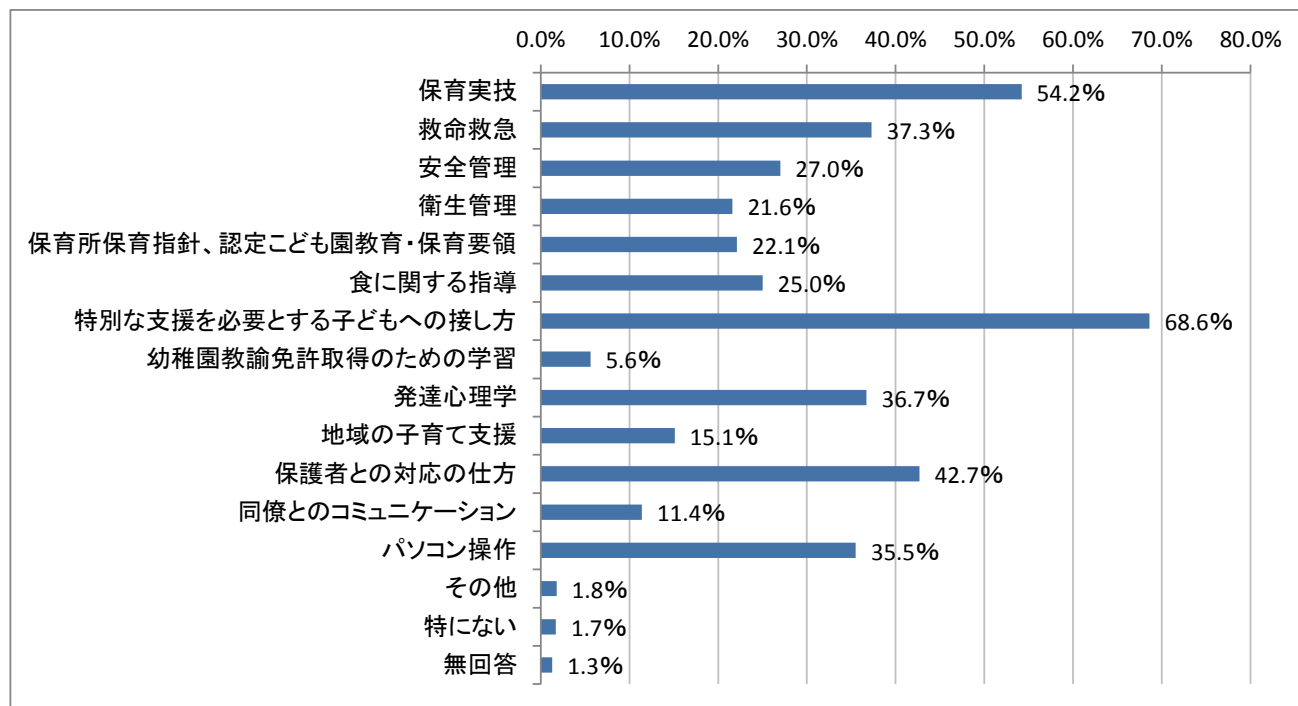
「その他」の内訳

特別な支援を必要とする子どもへの接し方	77
児童虐待	15
小学校との連携	12
自己研鑽のための研修	65

問 15 今後、習得したい知識や技術〈あてはまるものすべて〉

保育士として働くうえで、今度、習得したい知識や技術では、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が68.6%と最も高く、次いで「保育実技」(54.2%)、「保護者との対応の仕方」(42.7%)などが高い。

＜単純集計図表＞



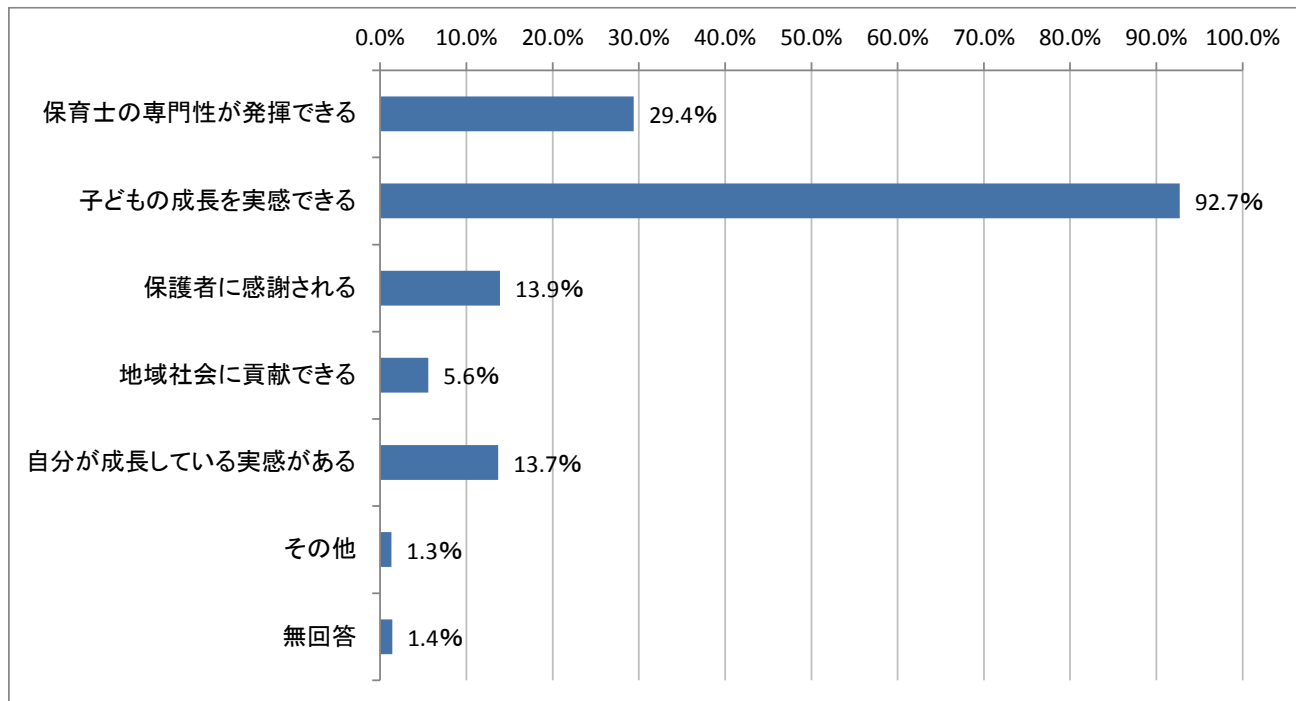
(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
保育実技	1,030	54.2%
救命救急	709	37.3%
安全管理	513	27.0%
衛生管理	411	21.6%
保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領	421	22.1%
食に関する指導	476	25.0%
特別な支援を必要とする子どもへの接し方	1,305	68.6%
幼稚園教諭免許取得のための学習	107	5.6%
発達心理学	698	36.7%
地域の子育て支援	288	15.1%
保護者との対応の仕方	812	42.7%
同僚とのコミュニケーション	217	11.4%
パソコン操作	676	35.5%
その他	34	1.8%
特にない	33	1.7%
無回答	25	1.3%

問 16 やりがいを感じる事<3 つまで選択>

現在勤務している保育所・認定こども園でやりがいを感じることは、「子どもの成長を実感できる」が 92.7%で最も高い。

<単純集計図表>

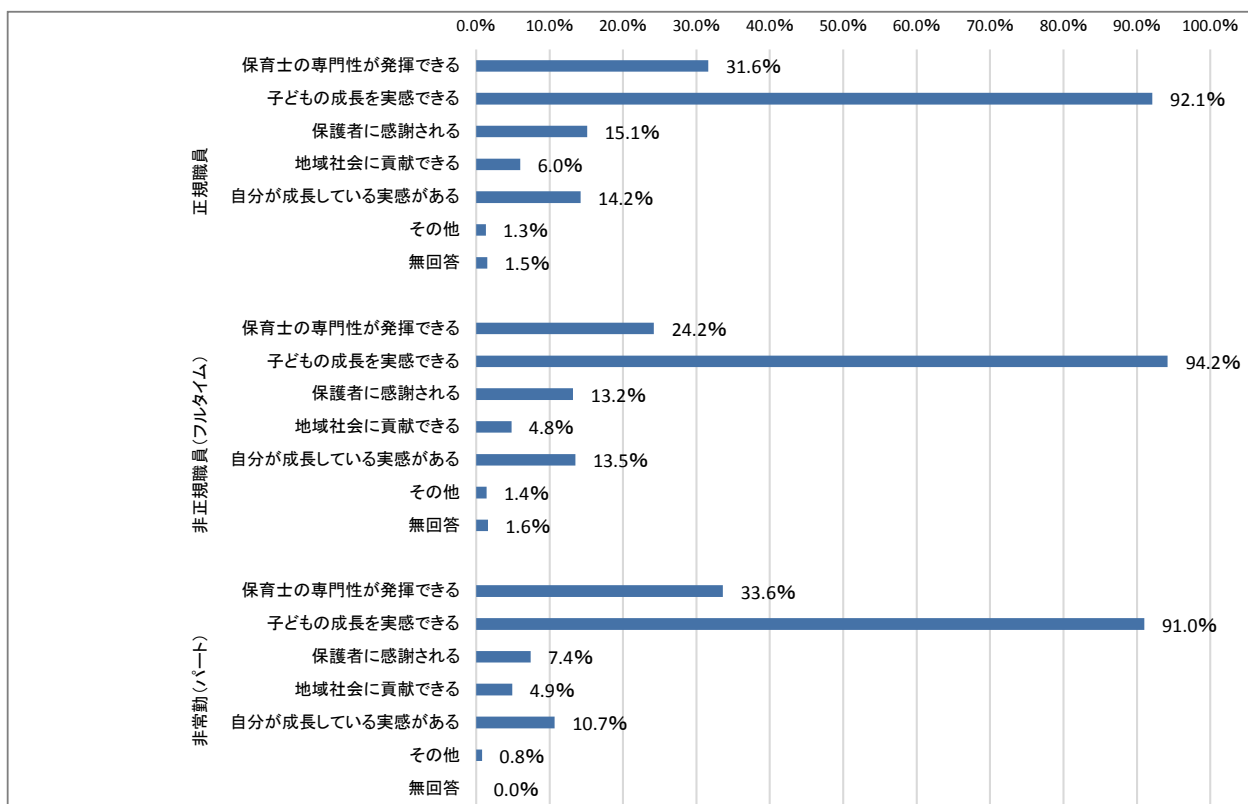


(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
保育士の専門性が発揮できる	560	29.4%
子どもの成長を実感できる	1,763	92.7%
保護者に感謝される	265	13.9%
地域社会に貢献できる	106	5.6%
自分が成長している実感がある	261	13.7%
その他	25	1.3%
無回答	27	1.4%

雇用形態別にみると、すべての形態で「子どもの成長を実感できる」の割合が9割以上と高い。正規職員と非常勤（パート）では「保育士の専門性が発揮できる」、正規職員と非正規職員（フルタイム）では「保護者に感謝される」の割合が比較的高い。

<雇用形態別集計図表>



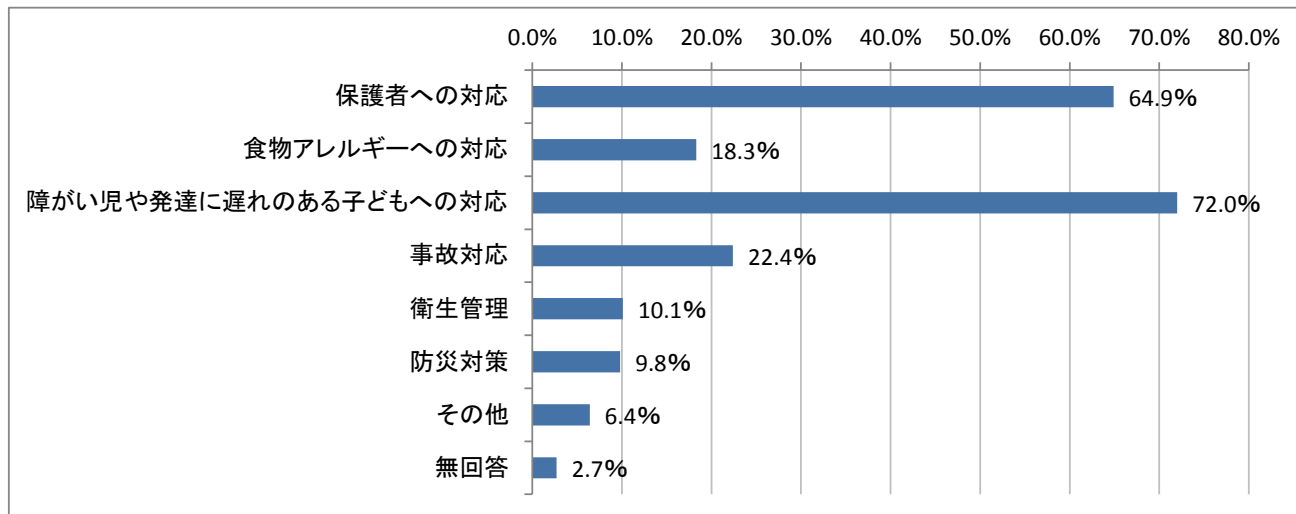
上段: 回答数
(複数回答) 下段: 構成比

	合計	保育士の専門性が発揮できる	子どもの成長を実感できる	保護者に感謝される	地域社会に貢献できる	自分が成長している実感がある	その他	無回答
合計	1,902	560	1763	265	106	261	25	27
	100.0%	29.4%	92.7%	13.9%	5.6%	13.7%	1.3%	1.4%
正規職員	1,150	363	1059	174	69	163	15	17
	100.0%	31.6%	92.1%	15.1%	6.0%	14.2%	1.3%	1.5%
非正規職員(フルタイム)	623	151	587	82	30	84	9	10
	100.0%	24.2%	94.2%	13.2%	4.8%	13.5%	1.4%	1.6%
非常勤(パート)	122	41	111	9	6	13	1	-
	100.0%	33.6%	91.0%	7.4%	4.9%	10.7%	0.8%	0.0%
無回答	7	5	6	-	1	1	-	-
	100.0%	71.4%	85.7%	-	14.3%	14.3%	-	-

問 17 対応が難しいと感じていること<3 つまで選択>

現在勤務している保育所・認定こども園で対応が難しいと感じていることは、「障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応」が72.0%と最も高く、次いで「保護者への対応」(64.9%)が高い。

<単純集計図表>

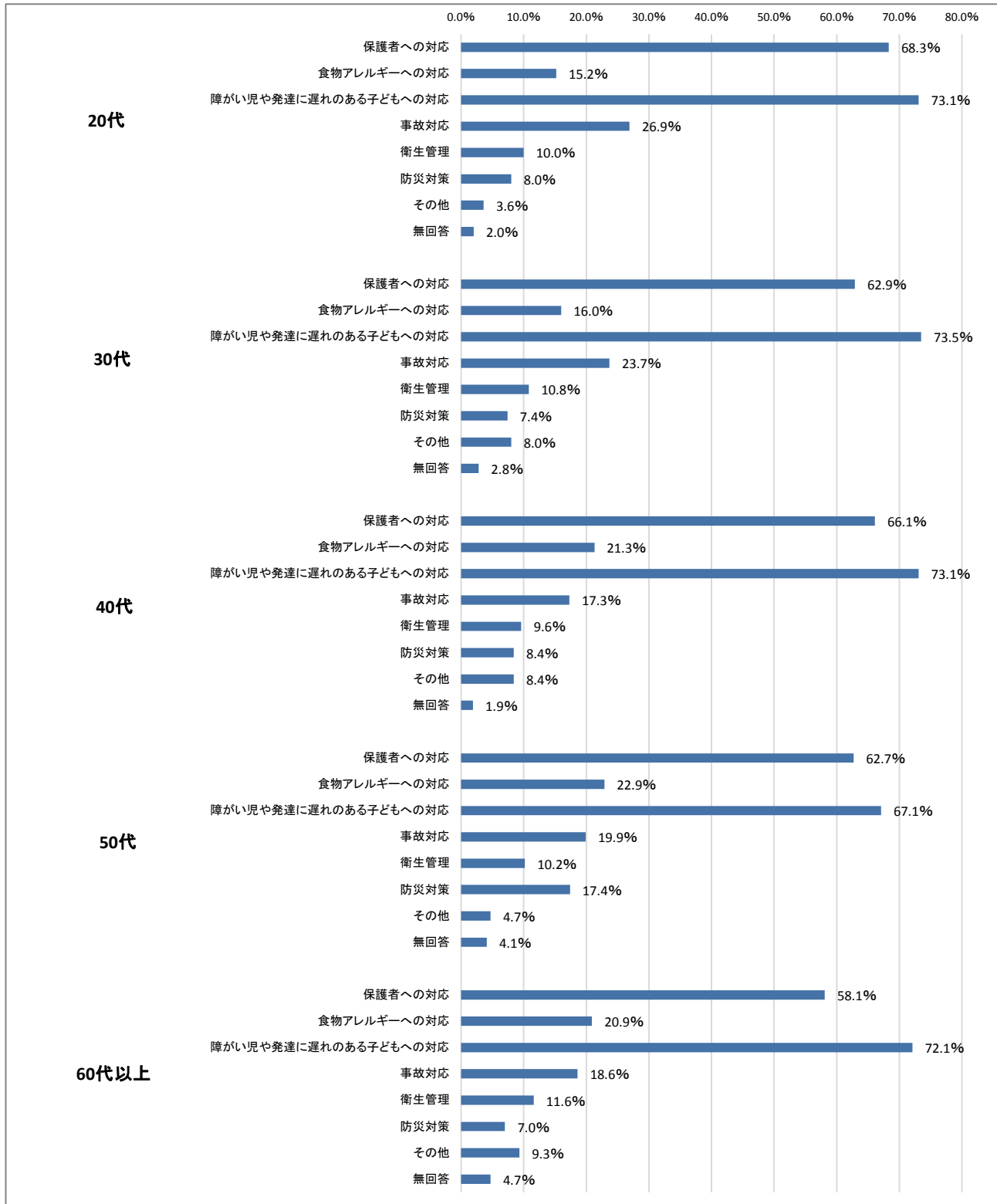


(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
保護者への対応	1,234	64.9%
食物アレルギーへの対応	349	18.3%
障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応	1,369	72.0%
事故対応	426	22.4%
衛生管理	192	10.1%
防災対策	187	9.8%
その他	122	6.4%
無回答	51	2.7%

年代別にみると、すべての年代で「障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応」の割合が最も高く、次いで「保護者への対応」である。年代が低いほど「事故対応」の割合が高くなり、年代が高いほど「食物アレルギーへの対応」の割合が高くなる傾向がある。

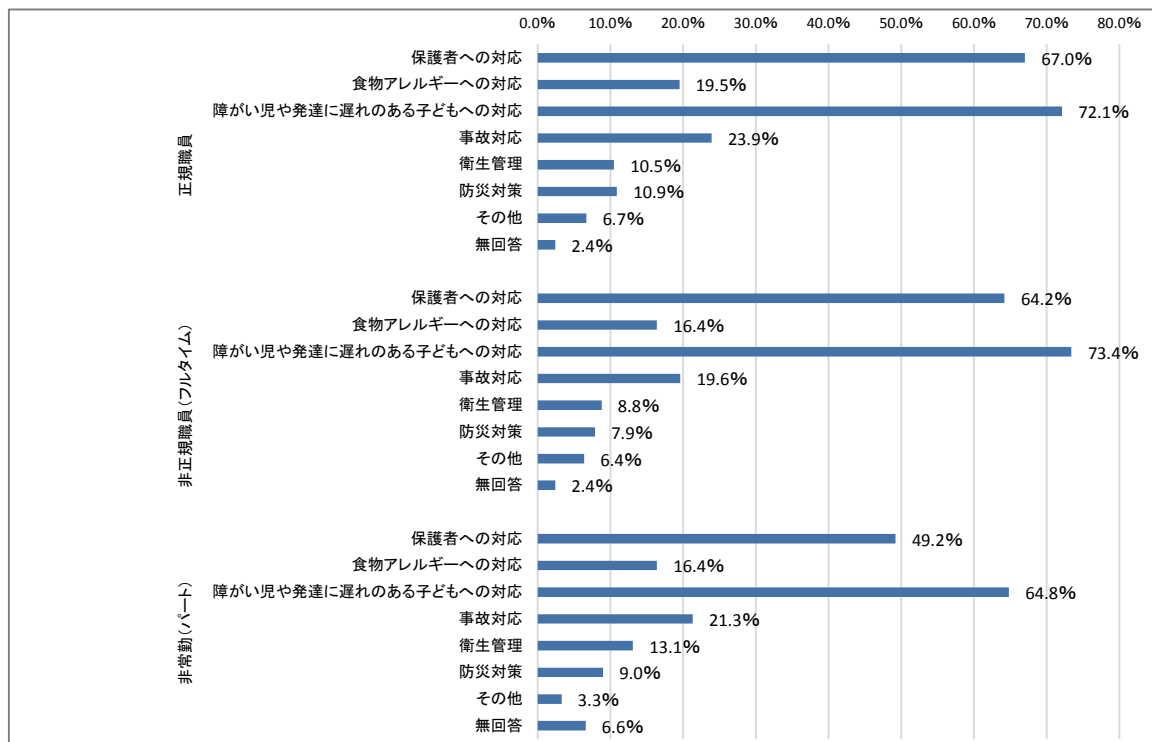
<年代別集計図表>



	合計	保護者への対応	食物アレルギーへの対応	障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応	事故対応	衛生管理	防災対策	その他	無回答	上段: 回答数
										(複数回答)
合計	1,902	1,234	349	1,369	426	192	187	122	51	
	100.0%	64.9%	18.3%	72.0%	22.4%	10.1%	9.8%	6.4%	2.7%	
20代	499	341	76	365	134	50	40	18	10	
	100.0%	68.3%	15.2%	73.1%	26.9%	10.0%	8.0%	3.6%	2.0%	
30代	539	339	86	396	128	58	40	43	15	
	100.0%	62.9%	16.0%	73.5%	23.7%	10.8%	7.4%	8.0%	2.8%	
40代	428	283	91	313	74	41	36	36	8	
	100.0%	66.1%	21.3%	73.1%	17.3%	9.6%	8.4%	8.4%	1.9%	
50代	362	227	83	243	72	37	63	17	15	
	100.0%	62.7%	22.9%	67.1%	19.9%	10.2%	17.4%	4.7%	4.1%	
60代以上	43	25	9	31	8	5	3	4	2	
	100.0%	58.1%	20.9%	72.1%	18.6%	11.6%	7.0%	9.3%	4.7%	
無回答	31	19	4	21	10	1	5	4	1	
	100.0%	61.3%	12.9%	67.7%	32.3%	3.2%	16.1%	12.9%	3.2%	

雇用形態別にみると、すべての形態で「障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応」の割合が最も高く、次いで「保護者への対応」であるが、どちらも、正規職員、非正規職員（フルタイム）と比較して非常勤（パート）の割合は低い。

<雇用形態別集計図表>

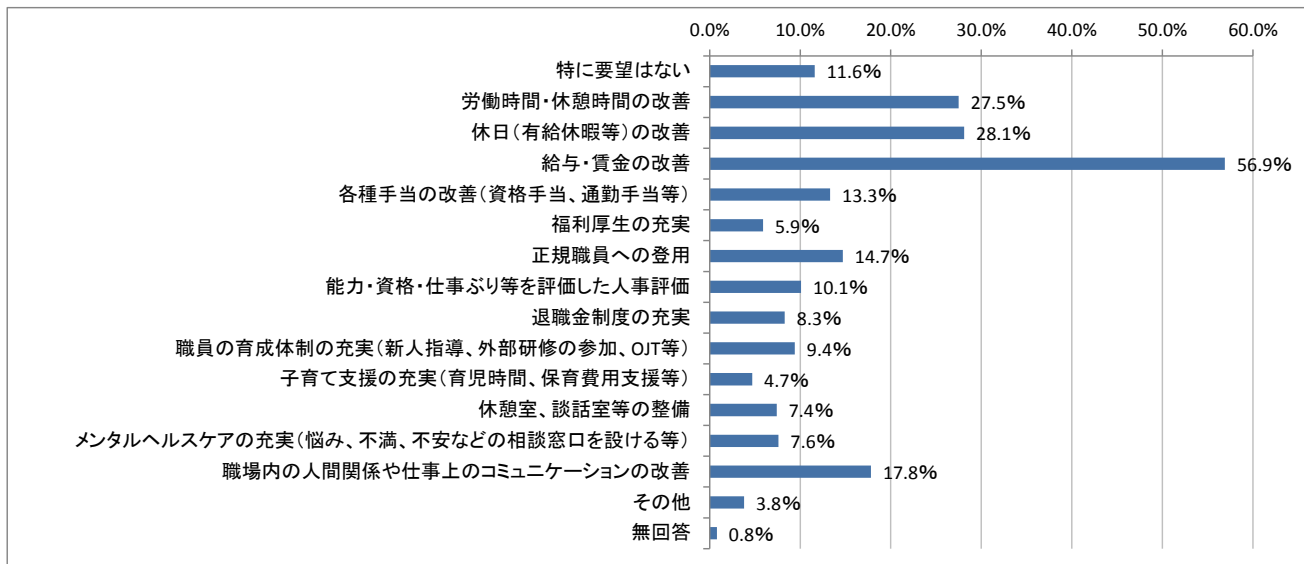


	合計	保護者への対応	食物アレルギーへの対応	障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応	事故対応	衛生管理	防災対策	その他	無回答	上段: 回答数
										(複数回答)
合計	1,902	1,234	349	1,369	426	192	187	122	51	
	100.0%	64.9%	18.3%	72.0%	22.4%	10.1%	9.8%	6.4%	2.7%	
正規職員	1,150	771	224	829	275	121	125	77	28	
	100.0%	67.0%	19.5%	72.1%	23.9%	10.5%	10.9%	6.7%	2.4%	
非正規職員(フルタイム)	623	400	102	457	122	55	49	40	15	
	100.0%	64.2%	16.4%	73.4%	19.6%	8.8%	7.9%	6.4%	2.4%	
非常勤(パート)	122	60	20	79	26	16	11	4	8	
	100.0%	49.2%	16.4%	64.8%	21.3%	13.1%	9.0%	3.3%	6.6%	
無回答	7	3	3	4	3	-	2	1	-	
	100.0%	42.9%	42.9%	57.1%	42.9%	-	28.6%	14.3%	-	

問 18 職場への要望<3 つまで選択>

現在勤務している保育所・認定こども園への要望では、「給与・賃金の改善」が 56.9%で最も高い。次いで「休日（有給休暇等）の改善」（28.1%）、「労働時間・休憩時間の改善」（27.5%）が高い。

<単純集計図表>

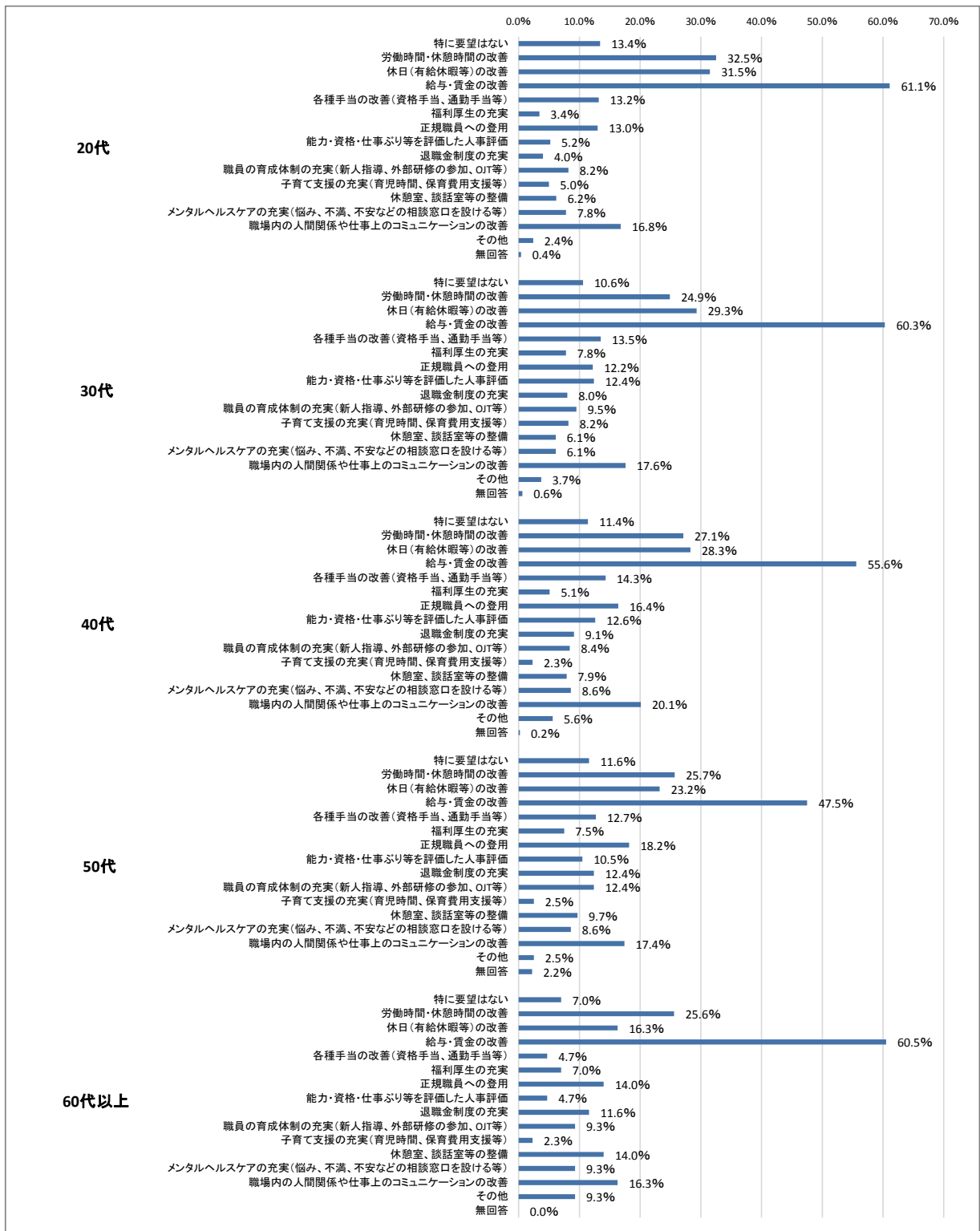


(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
特に要望はない	220	11.6%
労働時間・休憩時間の改善	523	27.5%
休日（有給休暇等）の改善	534	28.1%
給与・賃金の改善	1,083	56.9%
各種手当の改善（資格手当、通勤手当等）	253	13.3%
福利厚生の充実	113	5.9%
正規職員への登用	280	14.7%
能力・資格・仕事ぶり等を評価した人事評価	193	10.1%
退職金制度の充実	158	8.3%
職員の育成体制の充実（新人指導、外部研修の参加、OJT等）	179	9.4%
子育て支援の充実（育児時間、保育費用支援等）	90	4.7%
休憩室、談話室等の整備	140	7.4%
メンタルヘルスキアの充実（悩み、不満、不安などの相談窓口を設ける等）	144	7.6%
職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善	339	17.8%
その他	72	3.8%
無回答	15	0.8%

年代別では、すべての年代で「給与・賃金の改善」の割合が最も高いが、特に 20 代、30 代、60 代以上で 6 割以上と高い。20 代では「労働時間・休憩時間の改善」「休日（有給休暇等）の改善」を望む割合が他の年代と比較して高い。また、30 代では「子育て支援の充実（育児時間、保育費用支援等）」を望む割合が他の年代と比較して高い。

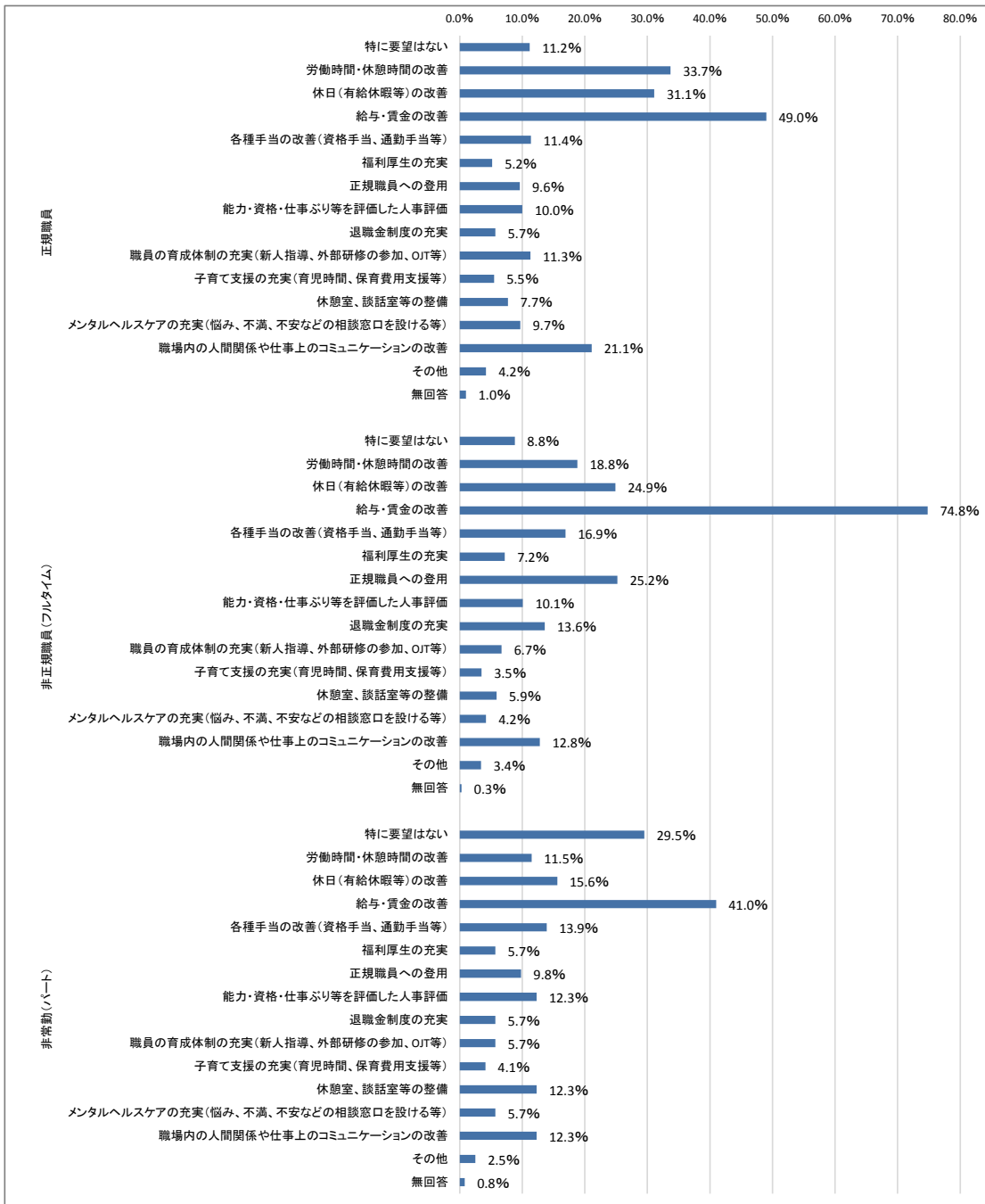
<年代別集計図表>



	合計	特に要望はない	労働時間・休憩時間の改善	休日(有給休暇等)の改善	給与・賞金の改善	各種手当の改善(資格手当、通勤手当等)	福利厚生充実	正規職員への登用	能力・資格・仕事ぶり等を評価した人事評価	退職金制度の充実	職員の育成体制の充実(新人指導、外部研修の参加、OJT等)	子育て支援の充実(育児時間、保育費用支援等)	休憩室、談話室等の整備	メンタルヘルスマスクアの充実(悩み、不満、不安などの相談窓口を設ける等)	職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善	その他	無回答	(複数回答)	
																		上段: 回答数	下段: 構成比
合計	1,902	220	523	534	1,083	253	113	280	193	158	179	90	140	144	339	72	15		
	100.0%	11.6%	27.5%	28.1%	56.9%	13.3%	5.9%	14.7%	10.1%	8.3%	9.4%	4.7%	7.4%	7.6%	17.8%	3.8%	0.8%		
20代	499	67	162	157	305	66	17	65	26	20	41	25	31	39	84	12	2		
	100.0%	13.4%	32.5%	31.5%	61.1%	13.2%	3.4%	13.0%	5.2%	4.0%	8.2%	5.0%	6.2%	7.8%	16.8%	2.4%	0.4%		
30代	539	57	134	158	325	73	42	66	67	43	51	44	33	33	95	20	3		
	100.0%	10.6%	24.9%	29.3%	60.3%	13.5%	7.8%	12.2%	12.4%	8.0%	9.5%	8.2%	6.1%	6.1%	17.6%	3.7%	0.6%		
40代	428	49	116	121	238	61	22	70	54	39	36	10	34	37	86	24	1		
	100.0%	11.4%	27.1%	28.3%	55.6%	14.3%	5.1%	16.4%	12.6%	9.1%	8.4%	2.3%	7.9%	8.6%	20.1%	5.6%	0.2%		
50代	362	42	93	84	172	46	27	66	38	45	45	9	35	31	63	9	8		
	100.0%	11.6%	25.7%	23.2%	47.5%	12.7%	7.5%	18.2%	10.5%	12.4%	12.4%	2.5%	9.7%	8.6%	17.4%	2.5%	2.2%		
60代以上	43	3	11	7	26	2	3	6	2	5	4	1	6	4	7	4	1		
	100.0%	7.0%	25.6%	16.3%	60.5%	4.7%	7.0%	14.0%	4.7%	11.6%	9.3%	2.3%	14.0%	9.3%	16.3%	9.3%	2.3%		
無回答	31	2	7	7	17	5	2	7	6	2	1	2	1	1	4	3	1		
	100.0%	6.5%	22.6%	22.6%	54.8%	16.1%	6.5%	22.6%	19.4%	19.4%	6.5%	3.2%	3.2%	-	12.9%	9.7%	3.2%		

雇用形態別では、すべての形態で「給与・賃金の改善」の割合が最も高いが、特に非正規職員（フルタイム）で高い。正規職員では「労働時間・休憩時間の改善」「休日（有給休暇等）の改善」を望む割合が非正規職員（フルタイム）、非常勤（パート）と比較して高い。また、非正規職員（フルタイム）では「正規職員への登用」、非常勤（パート）では「特に要望はない」が他の雇用形態と比較して高い。

<雇用形態別集計図表>



上段: 回答数
(複数回答) 下段: 構成比

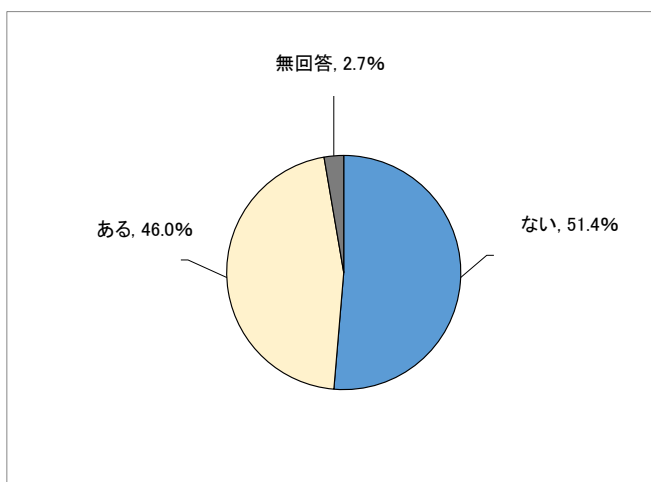
	合計	特に要望はない	労働時間・休憩時間の改善	休日(有給休暇等)の改善	給与・賃金の改善	各種手当の改善(資格手当、通勤手当等)	福利厚生充実	正規職員への登用	能力・資格・仕事ぶり等を評価した人事評価	退職金制度の充実	職員の育成体制の充実(新人指導、外部研修の参加、OJT等)	子育て支援の充実(育児時間、保育費用支援等)	休憩室、談話室等の整備	メンタルヘルスキアの充実(悩み、不満、不安などの相談窓口を設ける等)	職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善	その他	無回答
合計	1,902	220	523	534	1,083	253	113	280	193	158	179	90	140	144	339	72	15
	100.0%	11.6%	27.5%	28.1%	56.9%	13.3%	5.9%	14.7%	10.1%	8.3%	9.4%	4.7%	7.4%	7.6%	17.8%	3.8%	0.8%
正規職員	1,150	129	387	358	563	131	60	110	115	66	130	63	88	111	243	48	11
	100.0%	11.2%	33.7%	31.1%	49.0%	11.4%	5.2%	9.6%	10.0%	5.7%	11.3%	5.5%	7.7%	9.7%	21.1%	4.2%	1.0%
非正規職員(フルタイム)	623	55	117	155	466	105	45	157	63	85	42	22	37	26	80	21	2
	100.0%	8.8%	18.8%	24.9%	74.8%	16.9%	7.2%	25.2%	10.1%	13.6%	6.7%	3.5%	5.9%	4.2%	12.8%	3.4%	0.3%
非常勤(パート)	122	36	14	19	50	17	7	12	15	7	5	15	7	15	3	1	
	100.0%	29.5%	11.5%	15.6%	41.0%	13.9%	5.7%	9.8%	12.3%	5.7%	4.1%	12.3%	5.7%	12.3%	2.5%	0.8%	
無回答	7	-	5	2	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	
	100.0%	-	71.4%	28.6%	57.1%	-	14.3%	14.3%	-	-	-	-	-	-	14.3%	14.3%	

3 再就職者の実態

問 19 過去に保育所・認定こども園を辞めたことがあるか

過去に保育所・認定こども園を辞めたことがあるかでは、「ない」が 51.4%、「ある」が 46.0%である。

<単純集計図表>



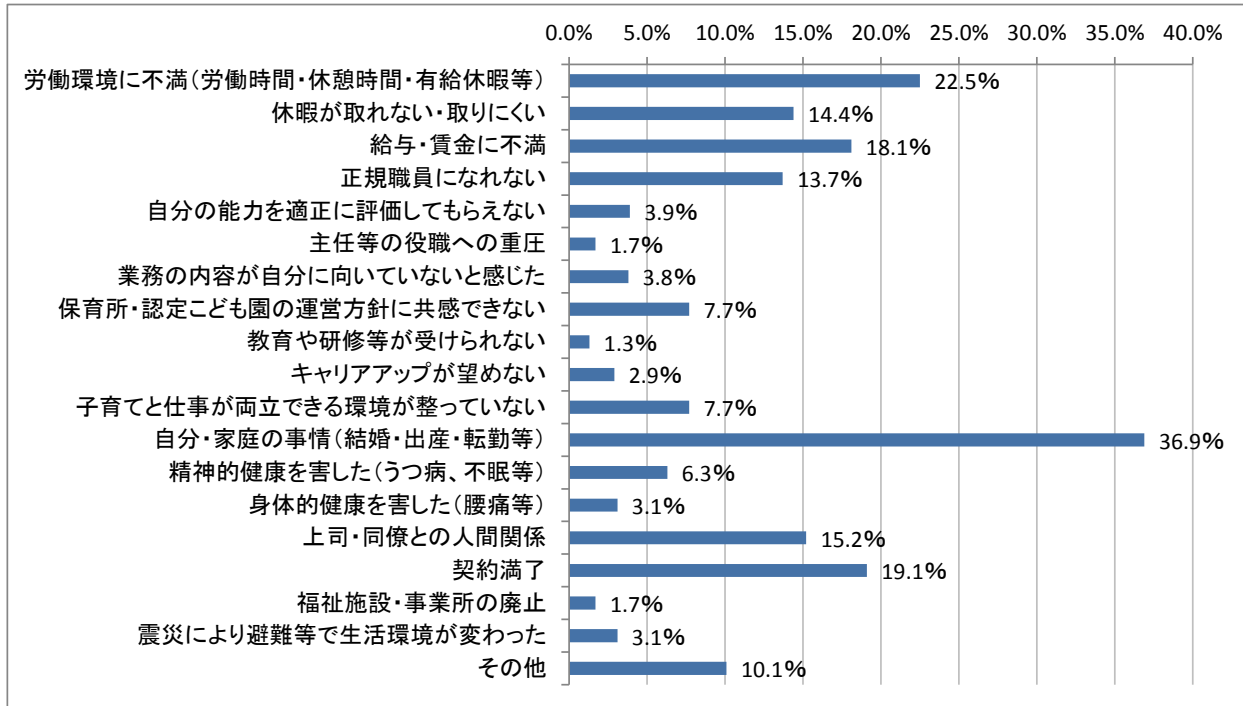
(単回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
ない	977	51.4%
ある	874	46.0%
無回答	51	2.7%

問 19-1 辞めた理由<3つまで選択>

過去に保育所・認定こども園を辞めたことがある回答者の辞めた理由では、「自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）」が36.9%で最も高く、「労働環境に不満（労働時間・休憩時間・有給休暇等）」（22.5%）、「契約満了」（19.1%）、「給与・賃金に不満」（18.1%）などが続いている。

<単純集計図表>



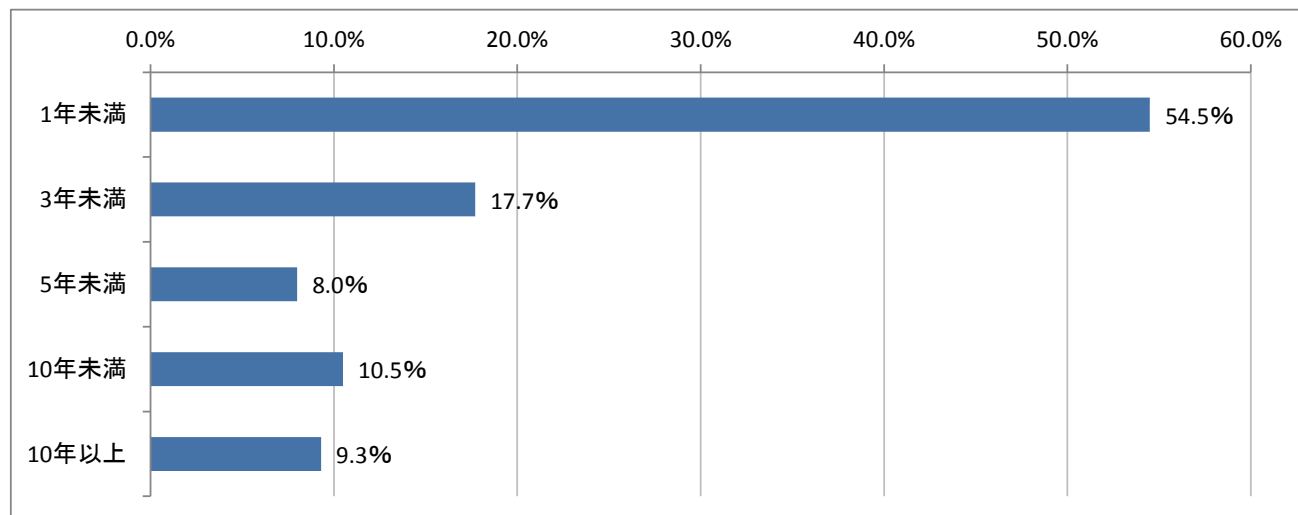
(複数回答)

	回答数	構成比
全体	868	100.0%
労働環境に不満(労働時間・休憩時間・有給休暇等)	195	22.5%
休暇が取れない・取りにくい	125	14.4%
給与・賃金に不満	157	18.1%
正規職員になれない	119	13.7%
自分の能力を適正に評価してもらえない	34	3.9%
主任等の役職への重圧	15	1.7%
業務の内容が自分に向いていないと感じた	33	3.8%
保育所・認定こども園の運営方針に共感できない	67	7.7%
教育や研修等が受けられない	11	1.3%
キャリアアップが望めない	25	2.9%
子育てと仕事が両立できる環境が整っていない	67	7.7%
自分・家庭の事情(結婚・出産・転勤等)	320	36.9%
精神的健康を害した(うつ病、不眠等)	55	6.3%
身体的健康を害した(腰痛等)	27	3.1%
上司・同僚との人間関係	132	15.2%
契約満了	166	19.1%
福祉施設・事業所の廃止	15	1.7%
震災により避難等で生活環境が変わった	27	3.1%
その他	88	10.1%

問 19-2 再就職までのブランク期間<数回ある場合は最長のもの>

過去に保育所・認定こども園を辞めたことがある回答者が再就職するまでのブランク期間では、「1年未満」が54.5%で最も高く、次いで「3年未満」(17.7%)である。

<単純集計図表>



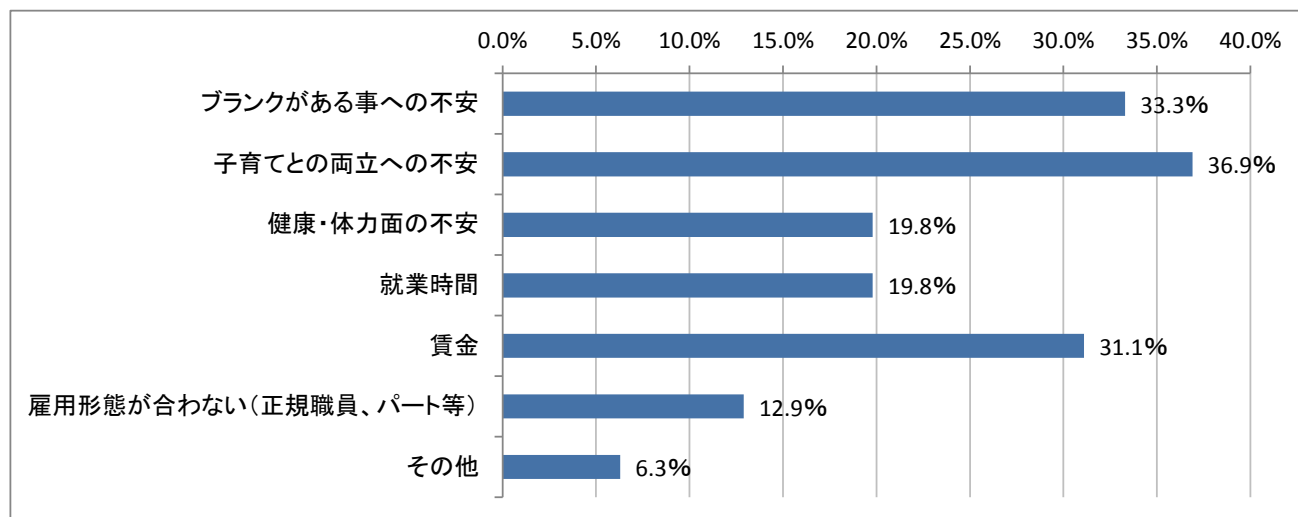
(単回答)

	回答数	構成比
全体	863	100.0%
1年未満	470	54.5%
3年未満	153	17.7%
5年未満	69	8.0%
10年未満	91	10.5%
10年以上	80	9.3%

問 19-3 再就職への課題<2つまで>

保育士として再就職するに当たっての課題では、「子育てとの両立への不安」が 36.9%と最も高く、「ブランクがある事への不安」(33.3%)、「賃金」(31.1%)などが続いている。

<単純集計図表>



(複数回答)

	回答数	構成比
全体	874	100.0%
ブランクがある事への不安	121	33.3%
子育てとの両立への不安	134	36.9%
健康・体力面の不安	72	19.8%
就業時間	72	19.8%
賃金	113	31.1%
雇用形態が合わない(正規職員、パート等)	47	12.9%
その他	23	6.3%

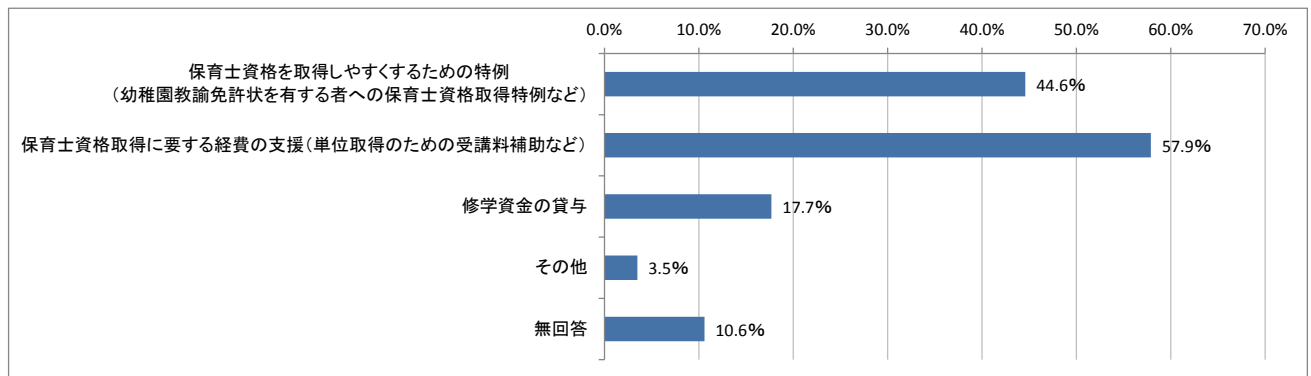
4 保育士として働き続けるために必要な取り組み

問 20 効果的と思われる保育士確保方策

資格取得のための環境整備<2つまで選択>

保育所や認定こども園に就業を希望する、または、保育所や認定こども園に就業している保育士が働き続けるために効果的と思われる資格取得のための環境整備では、「保育士資格取得に要する経費の支援(単位取得のための受講料補助など)」が57.9%と最も高く、次いで「保育士資格を取得しやすくするための特例(幼稚園教諭免許状を有する者への保育士資格取得特例など)」(44.6%)が高い。

<単純集計図表>



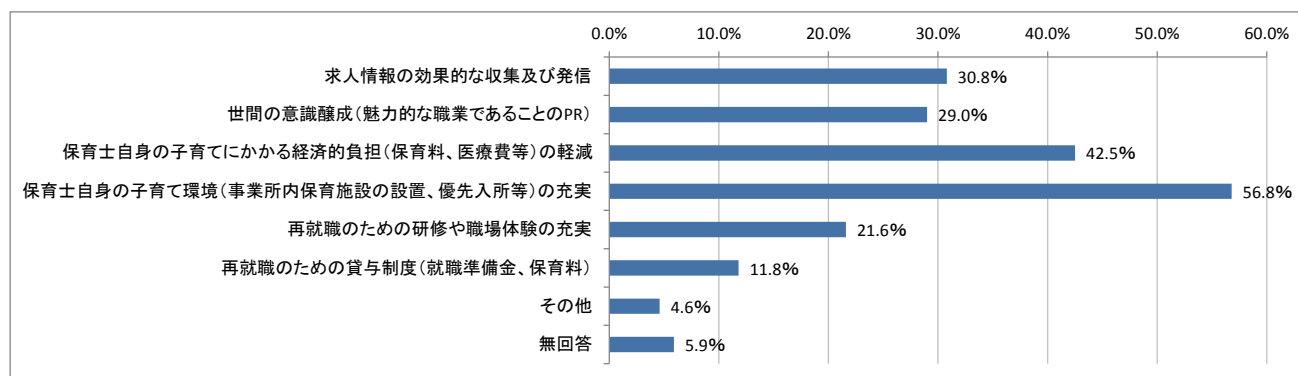
(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
保育士資格を取得しやすくするための特例(幼稚園教諭免許状を有する者への保育士資格取得特例など)	849	44.6%
保育士資格取得に要する経費の支援(単位取得のための受講料補助など)	1,102	57.9%
修学資金の貸与	336	17.7%
その他	66	3.5%
無回答	202	10.6%

就業するための環境整備<3つまで選択>

保育所や認定こども園に就業を希望する、または、保育所や認定こども園に就業している保育士が働き続けるために効果的と思われる就業するための環境整備では、「保育士自身の子育て環境（事業所内保育施設の設置、優先入所等）の充実」が56.8%と最も高く、次いで「保育士自身の子育てにかかる経済的負担（保育料、医療費等）の軽減」（42.5%）、「求人情報の効果的な収集及び発信」（30.8%）などである。

<単純集計図表>



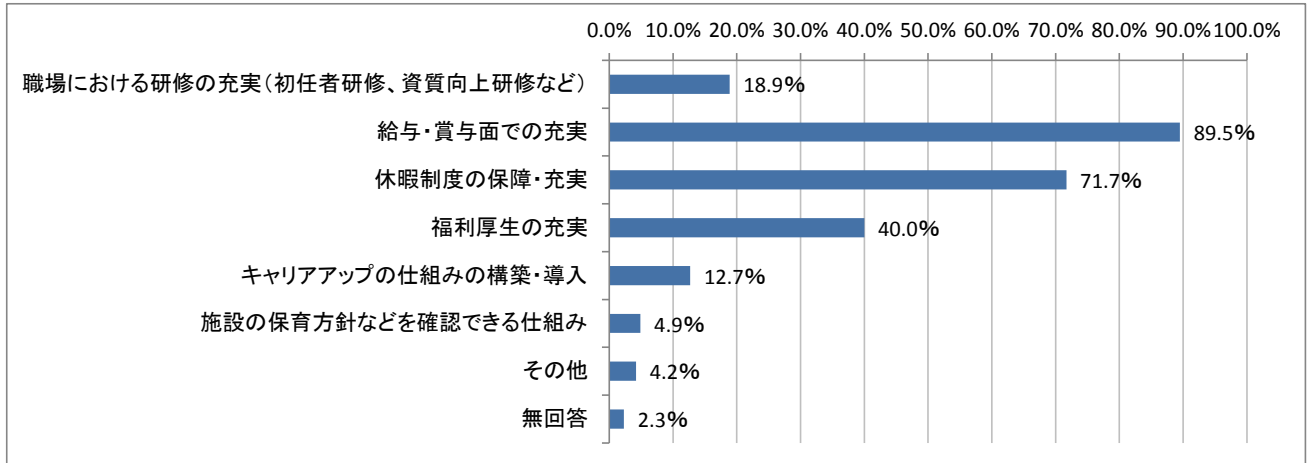
(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
求人情報の効果的な収集及び発信	586	30.8%
世間の意識醸成(魅力的な職業であることのPR)	551	29.0%
保育士自身の子育てにかかる経済的負担(保育料、医療費等)の軽減	809	42.5%
保育士自身の子育て環境(事業所内保育施設の設置、優先入所等)の充実	1,081	56.8%
再就職のための研修や職場体験の充実	411	21.6%
再就職のための貸与制度(就職準備金、保育料)	224	11.8%
その他	87	4.6%
無回答	113	5.9%

働き続けるための職場環境の整備<3つまで選択>

保育所や認定こども園に就業を希望する、または、保育所や認定こども園に就業している保育士が働き続けるために効果的と思われる職場環境の整備では、「給与・賞与面での充実」が89.5%で最も高く、次いで「休暇制度の保障・充実」(71.7%)が高い。

<単純集計図表>



(複数回答)

	回答数	構成比
全体	1,902	100.0%
職場における研修の充実(初任者研修、資質向上研修など)	360	18.9%
給与・賞与面での充実	1,703	89.5%
休暇制度の保障・充実	1,364	71.7%
福利厚生での充実	761	40.0%
キャリアアップの仕組みの構築・導入	242	12.7%
施設の保育方針などを確認できる仕組み	93	4.9%
その他	80	4.2%
無回答	44	2.3%

問 21 保育士の就労、労働環境、職場への定着などについての意見・提案（主な意見）

1. 給与・賞与

- ・保育士の仕事は子どもの成長を目の当たりにでき、とてもやりがいのある仕事だと思います。その分責任も多く、大変な仕事です。仕事内容に見合った給与の改善を求めます。
- ・現在の給料では一人暮らしをするのが難しい。
- ・仕事内容と給与が比例していないと感じる。
- ・職場環境には恵まれているが、給与面では将来的に不安がある。
- ・他職種に勤めている同級生との月給の差がありすぎます。
- ・サービス業なども経験しましたが、給料は1.5～2倍もらっていました。ただ、やりたい仕事は保育士だったので保育士に戻りました。子どもといるときは幸せで、充実しています。
- ・男性保育士は給料が低く家庭を支えられない。
- ・昇給が無い。
- ・残業手当が無い。

2. 労働時間、休暇、福利厚生、子育てとの両立

- ・保育士が足りなく、有給休暇があっても使えない。
- ・休みを取りづらい雰囲気がある。
- ・リフレッシュ休暇が欲しい。
- ・定時で帰りたいが帰れない。
- ・育児をしながら働けるか不安だったが、育児経験のある先輩保育士が多くおり、様々な事を相談でき理解してもらえ、大変助かっている。
- ・保育所は早番・遅番があり、それに対応できず働きたくても働けない子育て世代の有資格者はたくさんいると思う。みんなが働きやすい職場を作っていけるよう、迎える保育園側も柔軟に対応しなければいけないと思う。
- ・保育士自身が家族を持ち、子育てをすることは保育士としてのスキルアップにもつながります。保育士自身が安心して子どもを産み育て、働き続けられる環境を整えていくべきです。
- ・家庭と仕事の両立ができない現状がある。今の環境では結婚・出産・育児で辞めざるをえない。
- ・早番・遅番の勤務は、子どもを保育所に預けながらだと大変。
- ・現在働いているところは育児休暇の取得が難しく、産後すぐに復職するか退職するかのどちらかである。
- ・子どもが産まれても働き続けやすい環境づくりが必要だと思う。
- ・現在は独身だが、自分が子育てをするようになったら続けられないと感じる。
- ・保育士自身の子育て支援が必要だと思う。
- ・保育士が妊娠したら喜んでもらいたい。
- ・自分の子どもが熱を出しても休めない、休みづらい。

3. 業務内容、残業量、人員不足、設備の改善

- ・仕事量が多すぎて、勤務時間内に終わらせることが難しい。
- ・1人の保育士に求められることが多すぎる。

- ・30年以上保育士をしておりますが、どんどん求められる事や責任が増大し戸惑う事が多くあります。どんなに魅力のある仕事とはいえ、不平不満を抱えては仕事に支障をきたす可能性は高いです。
- ・子どもが好き、自分も同じ親として保護者を少しでも支えたい。そんな気持ちで仕事に励んできたが、残業が多く給料も安い、仕事を家に持ち帰り休む暇が無く働き続けられないと感じる。
- ・保育士に求められていることが多様化している、保育士が疲弊してしまわないような支援が必要。
- ・家に持ち帰る仕事が多く、休日も休まらない。
- ・書類関係が多すぎて手が回らない。
- ・休憩時間が欲しい。休憩時間は別室で休憩したい。
- ・パートの職員をうまく配置し、フルタイムの保育士は1時間休憩できるような環境を作ってほしい。
- ・寮を完備して欲しい。(今の給料では家を借りる余裕が無いため)
- ・私物を入れるロッカーも無く、保育室の押し入れにカバンを入れてあります。休憩室もありません。

4. 職場の人間関係

- ・職場での悩みを相談できる機関があると良い。(上司のパワハラ等)
- ・職場の悩みを気軽に相談できる場が欲しい。
- ・給料も大切だが、働きやすい雰囲気を作ることも大切だと思う。
- ・保育士同士の関係性も良く、何でも相談しやすい環境の中で働きたい。
- ・人間関係ではいろいろあるが、それをサポートできる上司がいる職場だと良い。
- ・園長・主任が保育士を思いやる気持ちが大切だと感じる。
- ・保育士と園長の信頼関係が不可欠。
- ・お互いの悩みや不満を話し合い改善していく、風通しの良い職場にすることが必要だと思います。
- ・男性が働き続けるのは難しい、もう少し男性が働きやすい雰囲気が欲しい。

5. 正規職員・非正規職員

- ・正規職員と非正規職員の仕事の差はほとんど無いのに、給与・賞与の面で大きく差があるのが不満です。
- ・臨時職員は賞与も無く、休暇も正規職員が優先的に取得するので休暇の希望も出づらい状況です。
- ・正規職員になりたいがなれない。正規職員の枠を増やすべき。正規職員への道が無い。
- ・やりがいのある仕事なので責任を持ち勤めているが、臨時職員なのでキャリアアップもない昇給もない、同じ仕事をしながら賃金の違いに愕然とします。でも好きな仕事なので続けていこうと思います。
- ・年齢が高くなると正規職員の求人に応募もできない。
- ・任期付きの採用でいつ契約が切られるか心配です。
- ・働き続けたくても任期満了で働けない。
- ・臨時職員は11か月雇用で1か月休まなければならない、収入に不安がある。

- ・求人はたくさんあるのに非正規職員での募集ばかりです。
- ・福利厚生だけでも正規職員と同じくして欲しいと思う。
- ・非正規職員でも産休・育休が取れるようにして欲しい。
- ・非正規職員でも研修に参加したい。

6. その他

人材育成

- ・能力に応じた人事評価が必要だと思う。
- ・平等に評価されていないと感じる。
- ・新人職員に対する指導を、もっと丁寧に細やかにしていく必要があると思う。
- ・新人育成の体制が無い。
- ・もっともっと研修に参加したいが、保育士不足で参加できない。
- ・上司の資質向上を求めます。
- ・園長、主任向けの研修を充実させてほしい。

社会的地位・保育士のイメージ

- ・子どもの発達的基础となる重要な部分を担う仕事でありながら、職業として軽く見られていると感じる。
- ・保育士は「子守り」というイメージが根強く、マイナスイメージを払拭できるかが課題。
- ・魅力的な職業であることをもっとPRしていただきたい。
- ・メディアだけでなく、ボランティアを受入れ保育園の良さを知ってもらう事が必要ではないか。
- ・保育士として働いている方のほとんどはみなさん子どもが大好きです。とにかく子ども達の事を思って日々保育に徹しています。そんな頑張りを評価してもらえず、更には低賃金・離職率が高い等マイナス面ばかりメディアに取り上げられては、潜在保育士は戻ってきません。
- ・確かに保育士の仕事はきついです。しかし、誇れるとても素晴らしい仕事だと思っています。保育士の仕事にあこがれ「大きくなったら保育所の先生になりたい」という子どもの夢を、安心して実現させてあげようような社会になって欲しいです。
- ・学生が就職したいと思えるような職場にしていかななくてはならない。
- ・保育士という仕事が素晴らしいと胸を張って言えるような保育園、職場であることが最優先だと思います。
- ・保育士のイメージと現場に入った時のギャップが大きいと思う。

資格取得

- ・国家試験を受けて資格取得したが7年もかかった。授業料の免除や資格取得のための支援が欲しかった。

配置基準

- ・個々の園よりもまずは法の改正をしてほしい。
- ・保育士1人に対して保育する子どもが多すぎるので、常に多忙です。昼食も5分ほどで食べ気持ちに余裕が持てません。
- ・保育士1人当たりの子どもの人数が多すぎる。保育士の配置基準が変われば、もっと充実した保育ができると思う。

平成28年度
「保育所等保育士就労意識調査」
調査票

保育所・認定こども園の職員の方へ

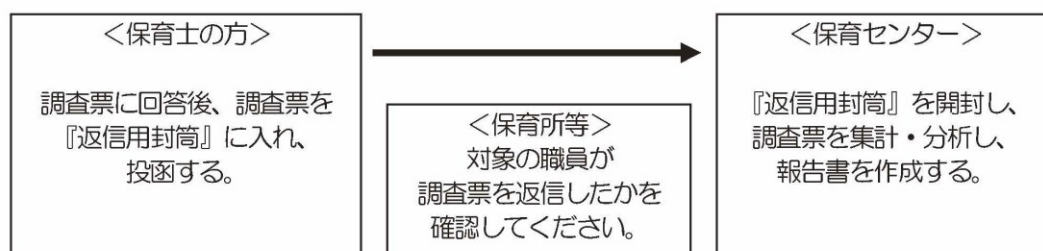
調査について

○この調査は、県内の保育所・認定こども園で働く保育士の就労に関する調査を実施するものです。なお、福島県保育士・保育所支援センターが福島県の委託を受けて実施します。

○調査の対象は、県内の保育所・認定こども園に勤務し、日常的に子どもの支援に直接にあたる保育士の方とさせていただきます。※「派遣職員」を除く。

○回答は無記名であり、回答いただいた調査票も専用の「返信用封筒」にて返信いただくため、個人が特定されることはありません。

○回答いただいた調査票は、平成28年12月16日(金)までに、返信してください。



○ご多忙の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査票の回答へご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県保育士・保育所支援センター

I 調査対象者の経歴等

- 問1 あなた自身についてお伺いします。(H28. 12. 1 現在)
- ・性別・年齢 **男**・**女** _____**歳**
- 問2 保育士資格の取得方法は何ですか。
- ア.** 専門(専修)学校の保育士養成課程を卒業
イ. 短期大学の保育士養成課程を卒業
ウ. 大学の保育士養成課程を卒業
エ. 保育士試験に合格
- 問3 あなたが保育士資格を取得した主な理由は何ですか。(○は2つまで)
- ア.** 子どもと接することが好きであったから
イ. あこがれの職業であったから
ウ. 身近な資格であったから
エ. 学校で勧められたから
オ. 親や家族に勧められたから
カ. 就職に困らないと思ったから
キ. たまたま入学できた学部だったから
ク. その他()
- 問4 あなたが保育士として働いている、通算の就業年数及び経験職場数はどれくらいですか。
- ・保育士通算年数: 約()年
・保育士として就業した職場数: 現在の勤務している職場で()か所目
- 問5 幼稚園教諭免許をお持ちですか。
- ア.** 専修幼稚園教諭免許を保有
イ. 第一種幼稚園教諭免許を保有
ウ. 第二種幼稚園教諭免許を保有
エ. 幼稚園教諭免許は保有していない

II 保育士の就労状況

- 問6 現在勤務しているのはどちらですか。
- ア.** 保育所・保育園 **イ.** 認定こども園
- 問7 現在勤務している保育所・認定こども園の所在地域はどこですか。(○は1つ)
- ア.** 県北 **イ.** 県中 **ウ.** 県南 **エ.** 会津
オ. 南会津 **カ.** 相双 **キ.** いわき
- 問8 現在の雇用形態は何ですか。(○は1つ)
- ※非正規職員とは正規職員と同様フルタイム勤務、非常勤とはパート、アルバイトなど
- ア.** 正規職員
イ. 非正規職員(フルタイム)
ウ. 非常勤(パート)

問9 現在勤務している保育所・認定子ども園での勤続年数はどれくらいですか。(H28.12.1現在)

- ア. 1年未満 イ. 1年～3年未満 ウ. 3年～5年未満 エ. 5年～10年未満
オ. 10年～15年未満 カ. 15年以上

問10 現在の職場を選んだ理由は何ですか。(〇は3つまで)

- ア. 福祉厚生が充実している
イ. 通勤が便利
ウ. 勤務時間が希望に合っている
エ. 休暇が取得しやすい
オ. 給与が希望に合っている
カ. 事故防止や安全対策が充実している
キ. 研修体制やキャリアアップが充実している
ク. 保育理念、方針が自分の考えと一致している
ケ. 他の働く職場が無かったから
コ. その他 ()

問11 現在勤務している保育所・認定子ども園への就業のきっかけ(ルート)は何ですか。(〇は1つ)

- ア. ハローワークに求職登録
イ. 福島県保育士・保育所支援センターに求職登録
ウ. 福祉人材センター・人材バンクに求職登録
エ. 知人、友人、OB・OGからの紹介
オ. 卒業した養成校からの紹介、あっせん
カ. 保育実習による実習先からの勧誘
キ. 事業者からの応募に直接申込み(求人広告等)
ク. その他 ()

問12 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について、()内に実態をご記入いただき、あなたの満足度をお答えください。

項目	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
①勤務日数：週()日	1	2	3	4	5
②勤務時間：()時()分～()時()分	1	2	3	4	5
③自宅からの通勤時間：片道()分	1	2	3	4	5
④給与・賞与等：年収()万円 ※手取額ではなく、税引前の総支給額(賞与、手当等を含む)	1	2	3	4	5
⑤休暇取得・福利厚生	1	2	3	4	5
⑥職場との人間関係	1	2	3	4	5
⑦保護者や地域との関係性	1	2	3	4	5
⑧施設の理念や運営方針	1	2	3	4	5
⑨スキルアップ等の研修の機会	1	2	3	4	5
⑩上司(施設長等)から自分への評価	1	2	3	4	5

※ 変則勤務の方は週又は月の中で一番多い勤務内容でお答えください。

- 問 13 残業時間は、毎月平均で何時間ぐらいありますか。
- ア. 0～10 時間未満 イ. 10～20 時間未満 ウ. 20～30 時間未満
 エ. 30～40 時間 オ. 40 時間以上

- 問 14 最近 1 年間の研修への参加状況について記入してください。
- ア. 参加した
 ・施設内の研修 () 回程度
 ・施設外の研修 () 回程度
 イ. 研修に参加していない

問 14-1 問 14 「ア. 参加した」と回答した方にお伺いします。どのような内容の研修を受けましたか。
(あてはまるもの全て)

- ア. 保育実技
 イ. 事故防止・安全対策
 ウ. 救命救急
 エ. 小児保健
 オ. 衛生管理
 カ. 発達心理学
 キ. 保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領
 ク. 食育
 ケ. コミュニケーション (職員間・子ども・保護者)
 コ. 社会人としてのマナー
 サ. クレーム対応
 シ. 保育計画、保育日誌等の書き方
 ス. 児童福祉制度
 コ. パソコン操作
 サ. その他 ()

問 15 保育士として働くうえで、今後、習得したい知識や技術はありますか。 **(あてはまるもの全て)**

- ア. 保育実技
 イ. 救命救急
 ウ. 安全管理
 エ. 衛生管理
 オ. 保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領
 カ. 食に関する指導
 キ. 特別な支援を必要とする子どもへの接し方
 ク. 幼稚園教諭免許取得のための学習
 ケ. 発達心理学
 コ. 地域の子育て支援
 サ. 保護者との対応の仕方
 シ. 同僚とのコミュニケーション
 ス. パソコン操作
 セ. その他 ()
 ソ. 特にない

問 16 現在勤務している保育所・認定こども園でやりがいを感じることは何ですか。(〇は2つまで)

- ア. 保育士の専門性が発揮できる
- イ. 子どもの成長を実感できる
- ウ. 保護者に感謝される
- エ. 地域社会に貢献できる
- オ. 自分が成長している実感がある
- カ. その他 ()

問 17 現在勤務している保育所・認定こども園で対応が難しいと感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

- ア. 保護者への対応
- イ. 食物アレルギーへの対応
- ウ. 障がい児や発達に遅れのある子どもへの対応
- エ. 事故対応
- オ. 衛生管理
- カ. 防災対策
- キ. その他 ()

問 18 現在勤務している保育所・認定こども園への要望はありますか。(〇は3つまで)

- ア. 特に要望はない
- イ. 労働時間・休憩時間の改善
- ウ. 休日(有給休暇等)の改善
- エ. 給与・賃金の改善
- オ. 各種手当の改善(資格手当、通勤手当等)
- カ. 福利厚生の実施
- キ. 正規職員への登用
- ク. 能力・資格・仕事ぶり等を評価した人事評価
- ケ. 退職金制度の実施
- コ. 職員の育成体制の実施(新人指導、外部研修の参加、OJT等)
- サ. 子育て支援の実施(育児時間、保育費用支援等)
- シ. 休憩室、談話室等の整備
- ス. メンタルヘルスケアの実施(悩み、不満、不安などの相談窓口を設ける等)
- セ. 職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善
- ソ. その他 ()

Ⅲ 再就職者の実態

問 19 過去に、保育所・認定こども園を辞めたことがありますか。

ア. ない (問 20 へ)

イ. ある (すぐ下の問 19-1 へ)

問 19-1 辞めた理由は何ですか。(○は3つまで)

- ア.** 労働環境に不満 (労働時間・休憩時間・有給休暇等)
- イ.** 休暇が取れない・取りにくい
- ウ.** 給与・賃金に不満
- エ.** 正規職員になれない
- オ.** 自分の能力を適正に評価してもらえない
- カ.** 主任等の役職への重圧
- キ.** 業務の内容が自分に向いていないと感じた
- ク.** 保育所・認定こども園の運営方針に共感できない
- ケ.** 教育や研修等が受けられない
- コ.** キャリアアップが望めない
- サ.** 子育てと仕事が両立できる環境が整っていない
- シ.** 自分・家庭の事情 (結婚・出産・転勤等)
- ス.** 精神的健康を害した (うつ病、不眠等)
- セ.** 身体的健康を害した (腰痛等)
- ソ.** 上司・同僚との人間関係
- タ.** 契約満了
- チ.** 福祉施設・事業所の廃止
- ツ.** 震災により避難等で生活環境が変わった
- テ.** その他 ()

問 19-2 再就職するまでのブランク期間はどのぐらいですか。(数回ある場合は最長のもの)

- ア.** 1年未満 **イ.** 3年未満 **ウ.** 5年未満 **エ.** 10年未満 **オ.** 10年以上

問 19-3 保育士として再就職するに当たり、課題はありましたか。(○は2つまで)

- ア.** ブランクがある事への不安
- イ.** 子育てとの両立への不安
- ウ.** 健康・体力面の不安
- エ.** 就業時間
- オ.** 賃金
- カ.** 雇用形態が合わない (正規職員、パート等)
- キ.** その他 ()

IV 保育士として働き続けるために必要な取組

問 20 保育所や認定こども園に就業を希望する、または、保育所や認定こども園に就業している保育士が働き続ける為に、効果的と思われる保育士確保方策を、以下の(1)～(4)からそれぞれ選んでください。

(1) 資格取得のための環境整備 (〇は2つまで)

- ア. 保育士資格を取得しやすくするための特例 (幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得特例など)
- イ. 保育士資格取得に要する経費の支援 (単位取得のための受講料補助など)
- ウ. 修学資金の貸付
- エ. その他 ()

(2) 就業するための環境整備 (〇は3つまで)

- ア. 求人情報の効果的な収集及び発信
- イ. 世間の意識醸成 (魅力的な職業であることのPR)
- ウ. 保育士自身の子育てにかかる経済的負担 (保育料、医療費等) の軽減
- エ. 保育士自身の子育て環境 (事業所内保育施設の設置、優先入所等) の充実
- オ. 再就職のための研修や職場体験の充実
- カ. 再就職のための貸付制度 (就職準備金、保育料)
- キ. その他 ()

(3) 働き続けるための職場環境の整備 (〇は3つまで)

- ア. 職場における研修の充実 (初任者研修、資質向上研修など)
- イ. 給与・賞与面での充実
- ウ. 休暇制度の保障・充実
- エ. 福利厚生での充実
- オ. キャリアアップの仕組みの構築・導入
- カ. 施設の保育方針などを確認できる仕組み
- キ. その他 ()

問 21 保育士の就労、労働環境、職場への定着などについて、ご意見・ご提案があればご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。

**平成28年度
保育所等保育士就労意識調査
報告書**

発行:平成29年3月

発行者:社会福祉法人福島県社会福祉協議会

福島県保育士・保育所支援センター

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

(福島県総合社会福祉センター内)

電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663

<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp>

E-mail:jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

集計・印刷:タカラ印刷株式会社

〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9

電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302

平成29年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています
http://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円
-----------------	---	---

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護士の賠償責任補償(新設)
- 借用不動産賠償事故補償

② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償 ② 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年、職種級別A級

▶保険金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
①入所型施設利用者	1,310円
②通所型施設利用者	990円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年、職種級別A級

▶保険金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	1,500円
手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	600円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
施設役員・職員の 1名1口あたり	3円(1日あたり) 780円(年間・週5勤務の場合)

① 施設職員の労災上乗せ補償

● オプション: 使用者賠償責任補償

③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償 (賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償(改定)

保険期間1年

▶補償金額	A型	B型	C型
賠償責任	5,000万円	1億円	3億円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます)

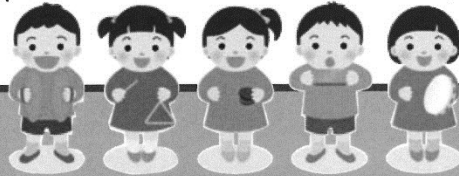
取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

賠償・傷害のセットプランをおすすめします!!

平成29年度

全社協 保育所の損害補償

スケールメリットを活かした有利な補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

● 簡単、便利なインターネットで手続きを

ふくしの保険

検索

<http://www.fukushihoken.co.jp>

基本セット補償	保険金額	年間保険料		
		定員数	保険料	
賠償責任	対人賠償	1名→1億円 1事故→7億円	41～50名	22,700円
	対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1～10名増ごとに 90名まで	1,200円
	受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	91～100名	29,300円
	人格権侵害	期間中→1,000万円	101名以降 1～10名増ごとに 150名まで	1,200円
	事故対応特別費用	期間中→500万円	151名以降 1～10名増ごとに	1,420円
	被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)		
園児傷害	死亡保険金	121.2万円	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます)	870円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%		
	入院保険金	1,700円*		
	通院保険金	1,100円		

基本セット補償保険料計算例	
100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害 870円 ×100名 ×1口	87,000円
合計	116,300円

*手術保険金のお支払額は、入院中の手術の場合：入院保険金日額の10倍、外来の手術の場合：入院保険金日額の5倍となります。

天災セット補償	保険金額	年間保険料		
		定員数	保険料	
賠償責任	対人賠償	1名→2億円 1事故→10億円	41～50名	28,000円
	対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1～10名増ごとに 80名まで	1,500円
	受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	81～90名	33,900円
	人格権侵害	期間中→1,000万円	91～100名	36,200円
	事故対応特別費用	期間中→500万円	101名以降 1～10名増ごとに 150名まで	1,500円
	被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	151名以降 1～10名増ごとに	1,800円
園児傷害	死亡保険金	108万円	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます)	1,190円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%		
	入院保険金	1,500円*		
	通院保険金	1,000円		



個別プラン

プラン1
保育所業務の補償

- ① 基本補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償
- 新設 オプション3 看護師の賠償責任補償

プラン2
保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3
保育所職員の補償

- ① 保育所職員の労災上乗せ補償
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償

プラン4
社会福祉法人役員の補償

改定 社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763